

**V O Y A G E**  
**G R O U P**

**東証一部 3688**

**2015年9月期通期 決算説明資料**

**2015年10月28日**

# アジェンダ

---

- |    |  |                |       |
|----|--|----------------|-------|
| 01 |  | 連結決算概要         | P 3   |
| 02 |  | 主要事業概要         | P 2 5 |
| 03 |  | 市場の概況と今後の事業展開  | P 4 1 |
| 04 |  | 2016年9月期連結業績予想 | P 4 8 |
| 05 |  | 参考資料           | P 5 5 |

# アジェンダ

---

01		連結決算概要	P 3
02		主要事業概要	P 2 5
03		市場の概況と今後の事業展開	P 4 1
04		2016年9月期連結業績予想	P 4 8
05		参考資料	P 5 5

# 2015年9月期 通期 決算概要

# 会計方針の変更について

▶ アドテクノロジー関連の収益認識基準を変更し、事業実態をより適切に財務諸表へ反映。

アドテクノロジー関連の収益認識基準	第1四半期 (10~12月)	第2四半期 (1~3月)	第3四半期 (4~6月)	第4四半期 (7~9月)
変更前 報告書到達（確定数値）基準	9月 10月 11月	12月 1月 2月	3月 4月 5月	6月 7月 8月
変更後 役務提供完了（概算数値）基準	10月 11月 12月	1月 2月 3月	4月 5月 6月	7月 8月 9月

## 変更の理由

従来の報告書到達基準では収益の発生期間と会計期間との間で1ヶ月のずれがありましたが、役務提供完了基準での数値の精度が向上したことから、**事業実態をより適切に財務諸表へと反映するため**変更を行います。

## 変更の影響

当会計方針変更を**2014年9月期より遡及適用**しております。これにより、2014年9月期の通期連結業績は、売上高で175百万円増加、営業利益で68百万円増加し、2015年9月期の通期連結業績は、売上高で166百万円増加、営業利益で39百万円増加しております。なお当社IRページ（<https://voyagegroup.com/ir/>）にて、当会計方針変更前後での比較が可能な形で決算データシートを掲載しております。

# 2015年9月期 通期 ハイライト

売上高	177.3億円	前期比	16.5%増
営業利益	22.3億円	前期比	14.8%増
(のれん償却前営業利益)	22.9億円	前期比	17.4%増 )

▶ 主にアドテクノロジー事業が成長を牽引し、売上高は15期連続<sup>※1</sup>で過去最高を更新。

営業利益も2期連続での過去最高を更新。

▶ アドテクノロジー事業を中心に戦略的な投資や合併等を7件実施（総投資額約21億円）。

▶ 東証マザーズから東証一部に指定替え。株主還元方針を見直し、配当や株主優待を開始。

※1：決算期変更による3ヶ月の変則決算期を除く。

※2：2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 通期業績概要

▶ 全指標において前期比で二桁成長。

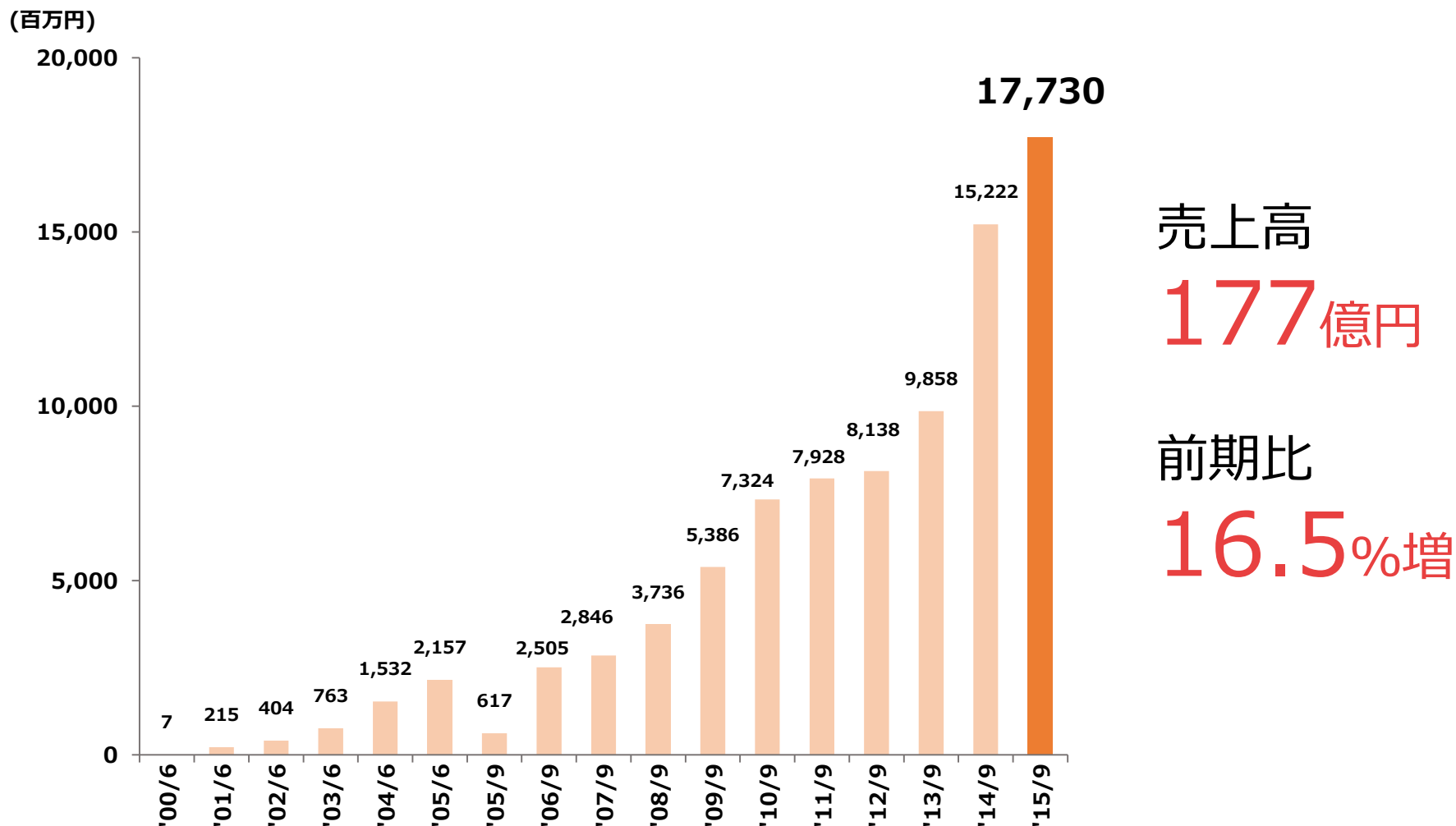
当期純利益はリサーチ事業再編による持分変動益（3.9億円）等の計上により予想を大きく上回った。

(百万円)	2014年9月期	2015年9月期		実績	前期比
	実績	期首業績予想	1/28修正業績予想		
売上高	15,222	17,600	18,000	17,730	+16.5%
営業利益	1,949	2,200	2,300	2,238	+14.8%
(のれん償却前営業利益)	1,956	—	—	2,296	+17.4%
当期純利益	1,134	1,300	1,350	1,646	+45.2%

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 通期連結売上高推移

▶ 売上高は過去最高を更新。

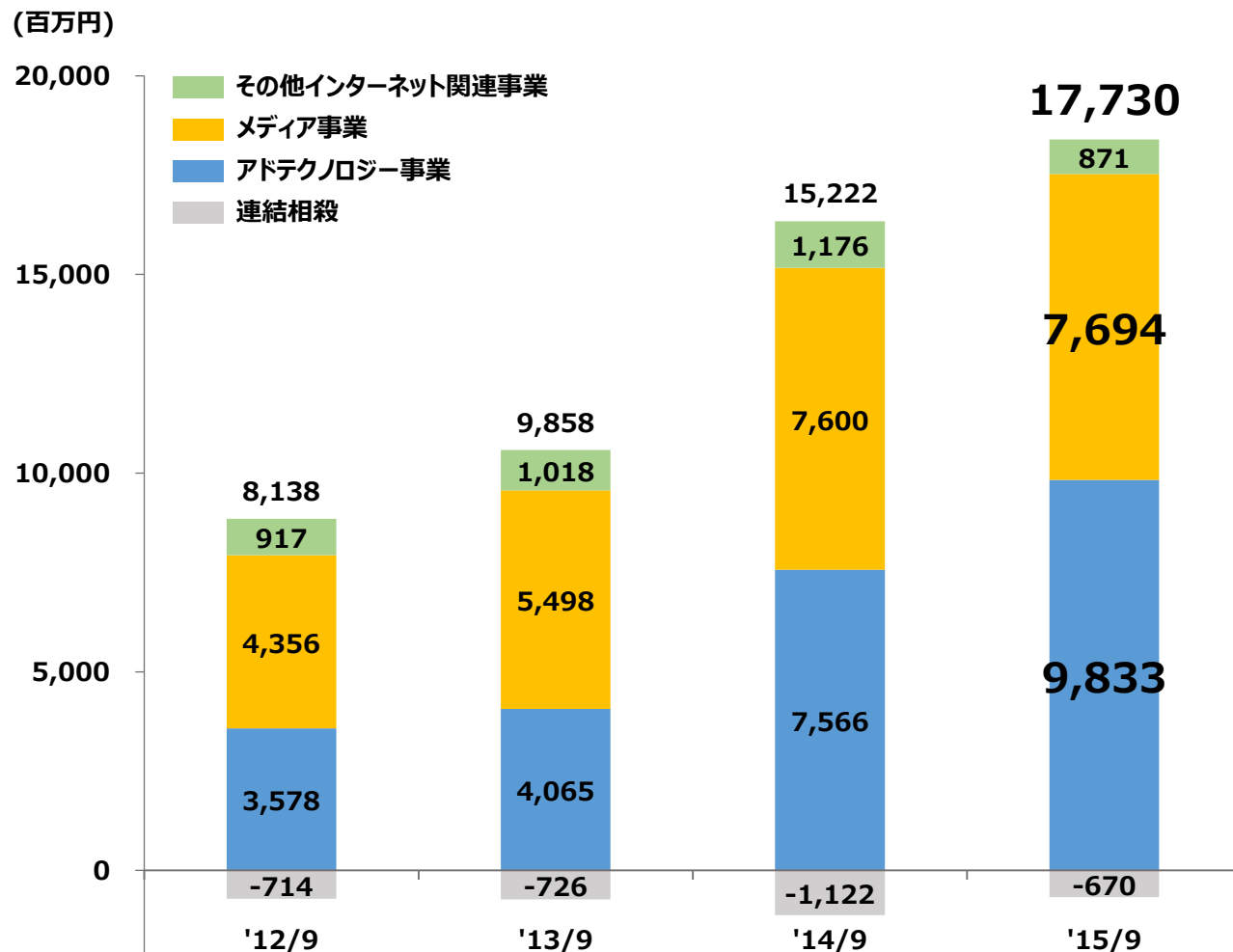


※2005年9月期は決算期変更による3ヶ月の変則決算、2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。



# セグメント別 通期売上高推移

▶ アドテクノロジー事業、メディア事業ともに過去最高を記録。



アドテクノロジー事業  
売上高

98.3億円

前期比

30.0%増

メディア事業  
売上高

76.9億円

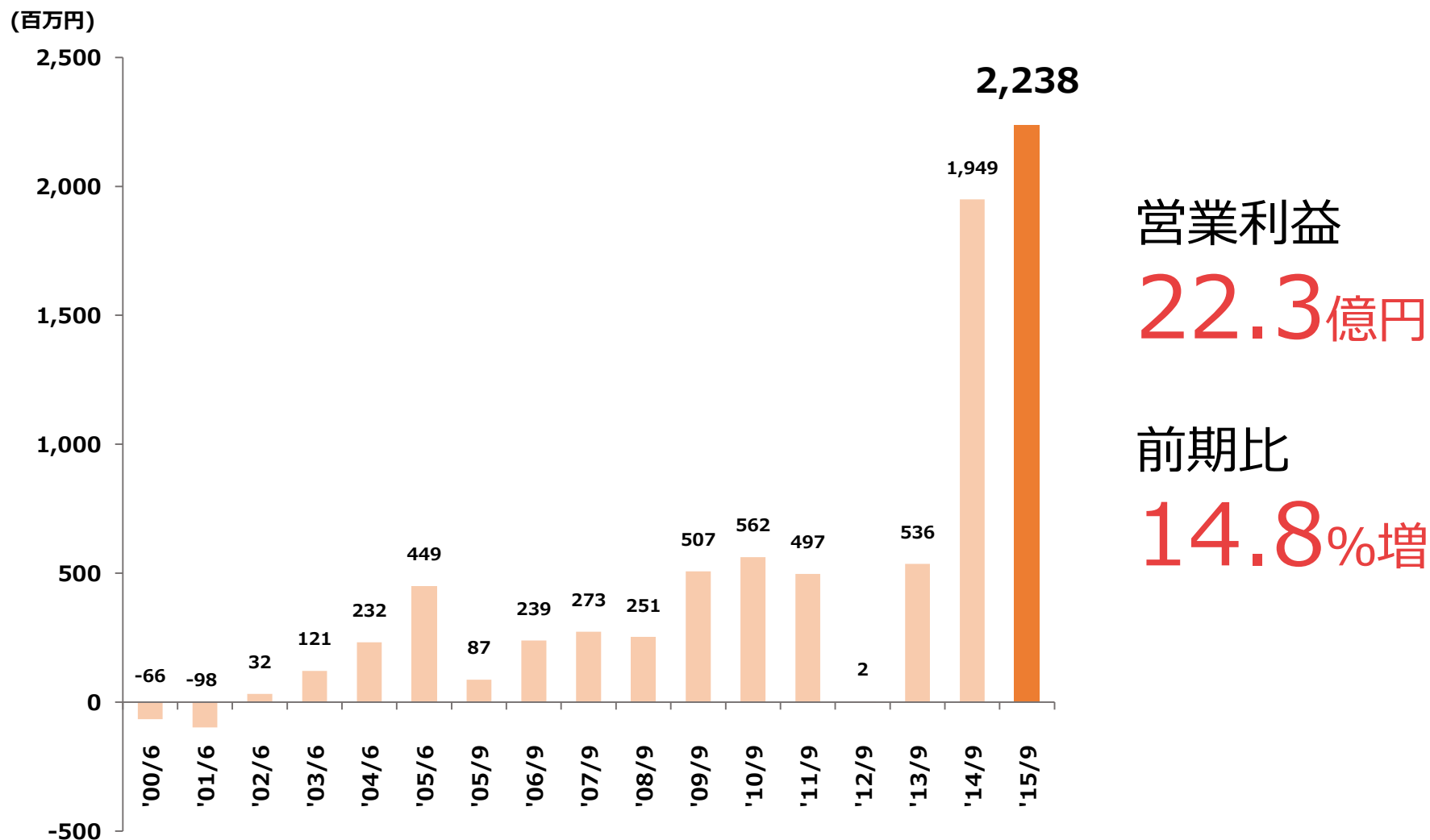
前期比

1.2%増

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 通期連結営業利益推移

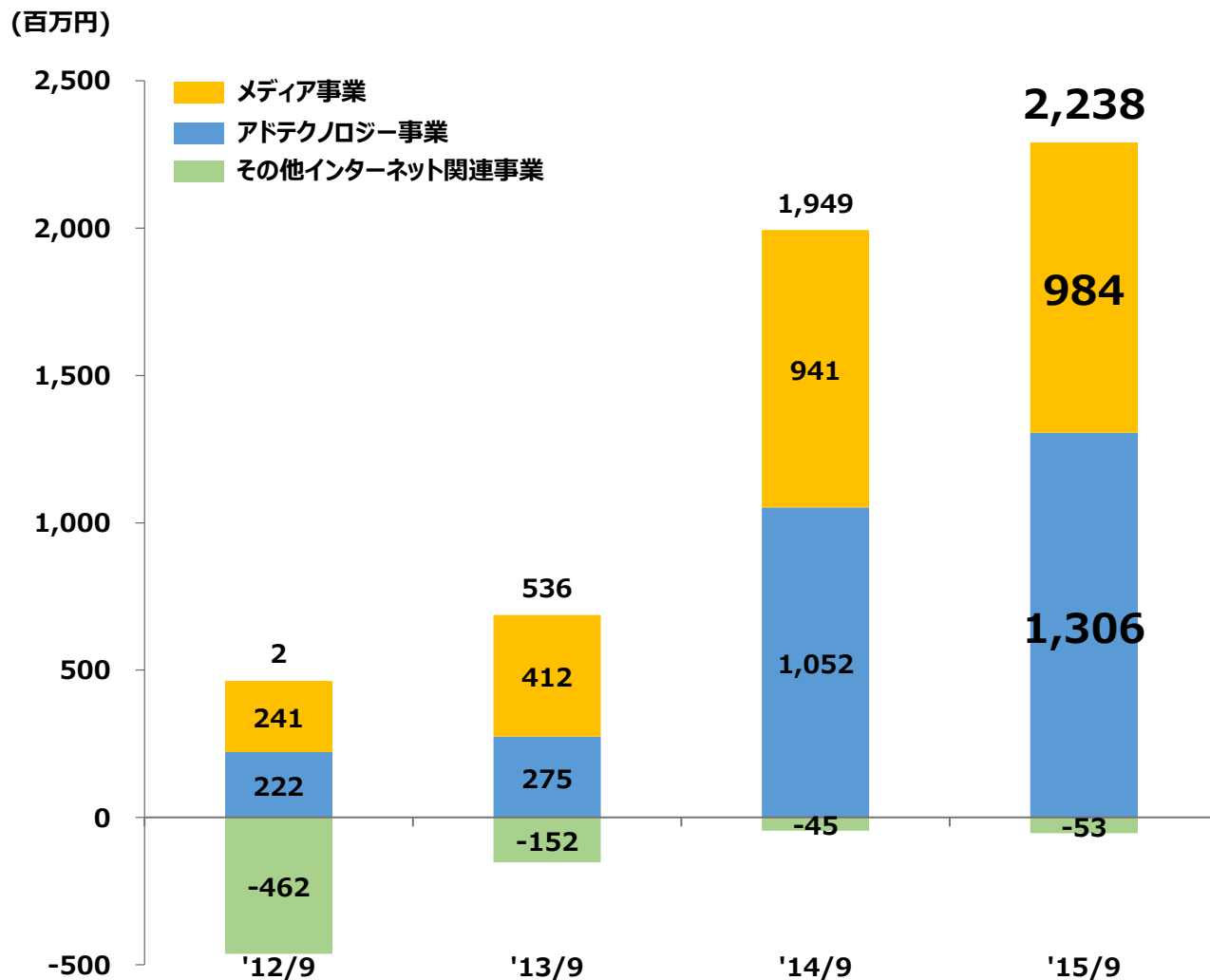
▶ 営業利益は過去最高を更新。



※2005年9月期は決算期変更による3ヶ月の変則決算、2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# セグメント別 通期営業利益推移

▶ アドテクノロジー事業、メディア事業ともに過去最高を記録。



アドテクノロジー事業  
営業利益

13.0億円

前期比

24.2%増

メディア事業  
営業利益

9.8億円

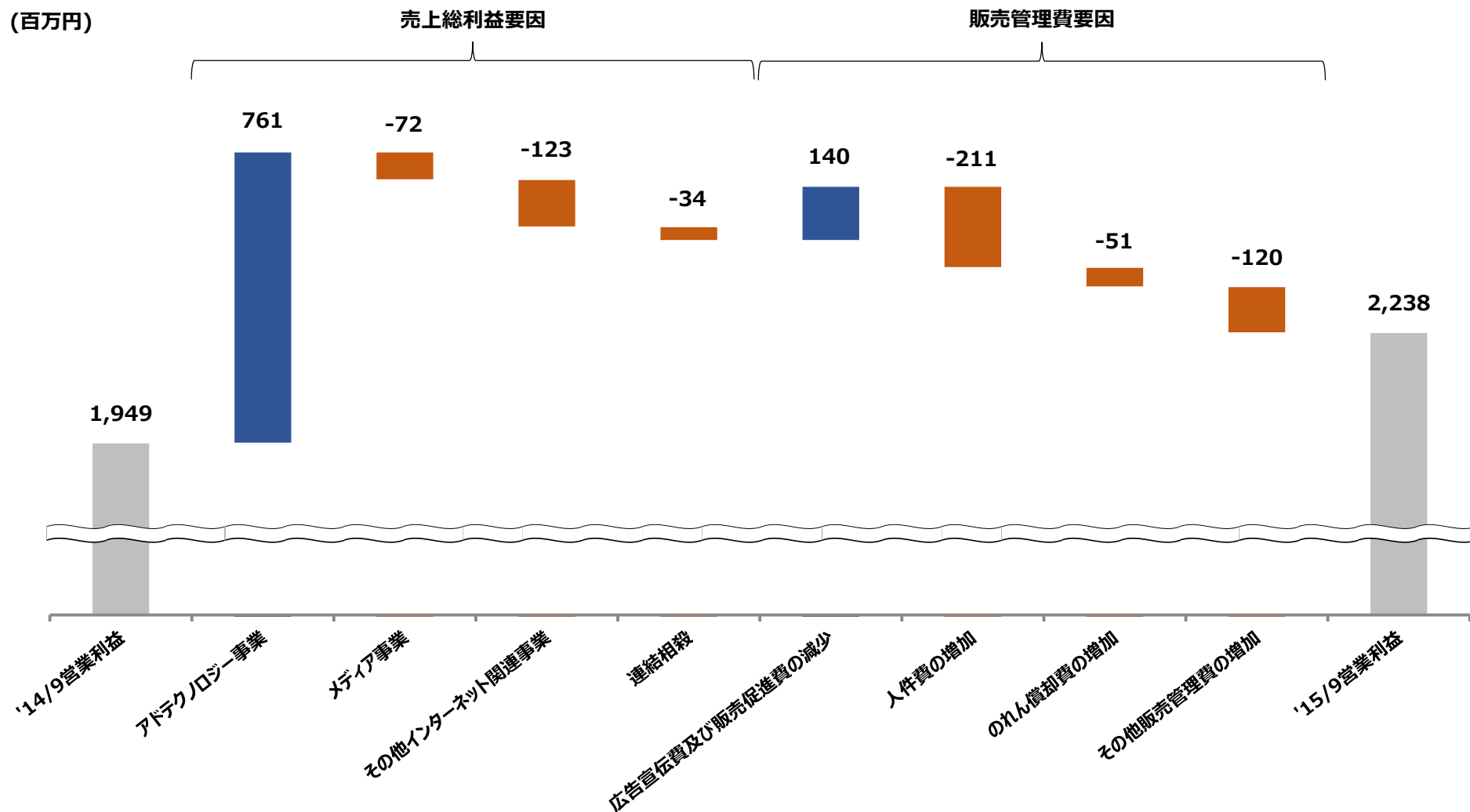
前期比

4.5%増

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 通期連結営業利益増減要因

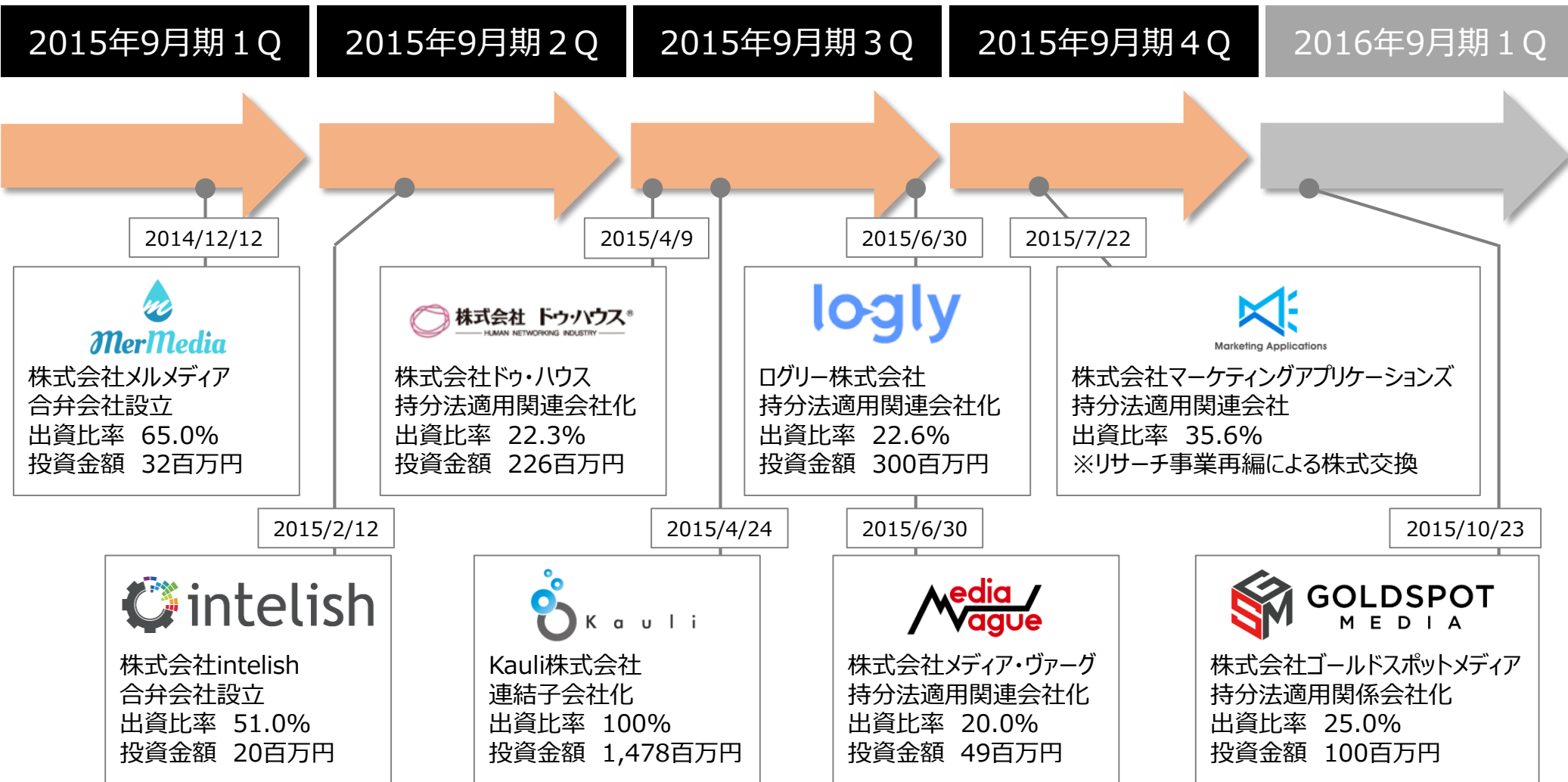
▶ アドテクノロジー事業の粗利成長が販売管理費の増加を吸収し利益増加。



※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 主要な出資及び合併企業設立等

▶ アドテクノロジー事業を中心に、戦略的な出資及び合併企業設立等を7件（総投資額約21億円）実行。



# 通期連結損益計算書

▶ 前期比で増収増益、のれん償却前営業利益では17.4%成長。

リサーチ事業の再編による持分変動益（3.9億円）等を特別利益として計上。

(百万円)	2015年9月期 2014年10月～2015年9月	2014年9月期 2013年10月～2014年9月	前期比
売上高	17,730	15,222	+16.5%
売上総利益	6,561	6,030	+8.8%
売上総利益率	37.0%	39.6%	-2.6pt
販売管理費	4,323	4,080	+5.9%
営業利益	2,238	1,949	+14.8%
営業利益率	12.6%	12.8%	-0.2pt
(のれん償却前営業利益)	2,296	1,956	+17.4%
(のれん償却前営業利益率)	13.0%	12.9%	+0.1pt
経常利益	2,189	1,959	+11.7%
税引前利益	2,510	1,948	+28.8%
当期純利益	1,646	1,134	+45.2%

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 通期連結貸借対照表

▶ 業績好調により、前期末より純資産が17.1億円増え、62.7億円に。

(百万円)	2015年9月期 2015年9月末	2014年9月期 2014年9月末	前期末差	主な増減要因
流動資産	7,803	8,355	-552	—
うち現金及び預金	4,214	5,085	-871	利益計上及び借入による増加と、Kauli社等への出資や法人税支払いによる減少での変動。
固定資産	4,867	2,233	2,633	Kauli社等への出資によるのれん及び関係会社株式の増加。
総資産	12,670	10,588	2,081	—
流動負債	5,478	5,428	50	—
うちポイント引当金	2,690	2,577	113	—
固定負債	918	601	316	長期借入金の増加と、繰延税金負債の減少での変動。
純資産	6,274	4,558	1,715	当期純利益計上による増加。
負債及び純資産	12,670	10,588	2,081	—

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 通期連結キャッシュ・フロー計算書

▶ アドテクノロジー事業やメディア事業を強化するための投資活動を積極化。

現預金の期末残高は42.1億円に。

(百万円)	2015年9月期 2014年10月～2015年9月	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	973	税金等調整前当期純利益計上による2,510百万円の増加と、法人税等の支払いによる1,578百万円の減少での変動。
投資活動によるキャッシュ・フロー	-2,608	Kauli株式会社等の株式取得による2,078百万円の減少及びデータセンター等の設備投資による467百万円の減少。
財務活動によるキャッシュ・フロー	796	長期借入金による1,000百万円の増加と、借入金返済による269百万円の減少での変動。
現金及び現金同等物の期末残高	4,214	—



# **2015年9月期 第4四半期 決算概要**

# 2015年9月期 第4四半期 ハイライト

売上高	44.3億円	前年同四半期比	13.8%増
営業利益	5.4億円	前年同四半期比	18.5%増
(のれん償却前営業利益)	5.8億円	前年同四半期比	25.3%増 )

- ▶ 東証マザーズから東証一部へ指定替え。一部上場に伴い、記念配当を実施。
- ▶ 株主還元方針を見直し、配当や株主優待を開始。

## アドテクノロジー事業は前年同四半期比での成長が続く

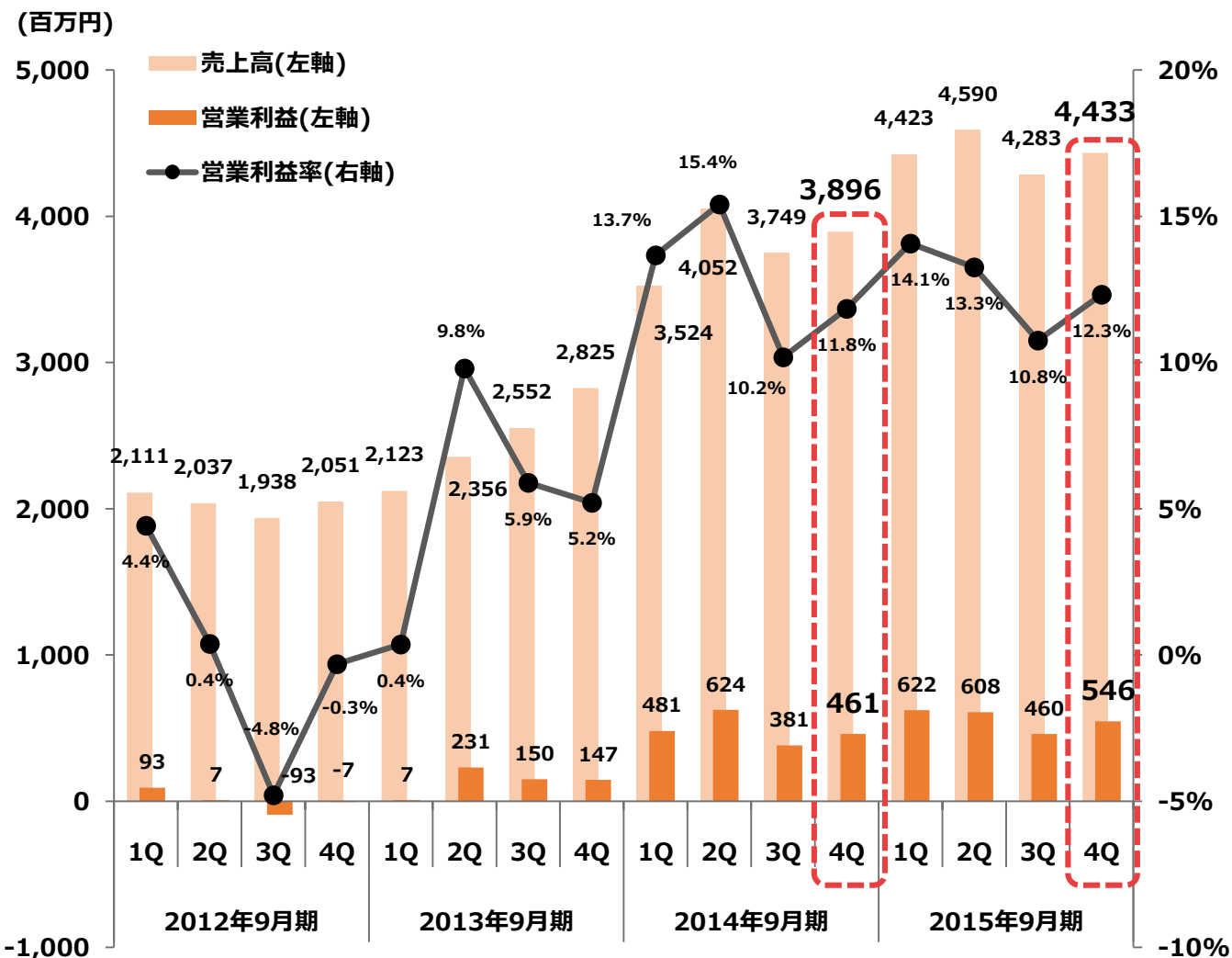
- ▶ 前年同四半期比で売上高**24.2%増**、営業利益**15.1%増**と増収増益。スマホSSP売上高は**過去最高**を更新。
- ▶ ゴールドスポットメディア社と資本業務提携を行い、持分法適用関連会社化し、**リッチメディア・動画広告分野を強化**。

## メディア事業及びその他インターネット関連事業

- ▶ メディア事業は前年同四半期比で売上高**1.6%増**、営業利益**27.6%増**と増収増益。
- ▶ ゲームパブリッシング事業を行っている子会社より、「デッキヒーローズ」を9月にリリース。

# 連結業績 四半期推移

▶ 前年同四半期から売上高は13.8%成長し、営業利益も前年同四半期比で18.5%成長。



売上高

44.3億円

前年同四半期比

13.8%増

営業利益

5.4億円

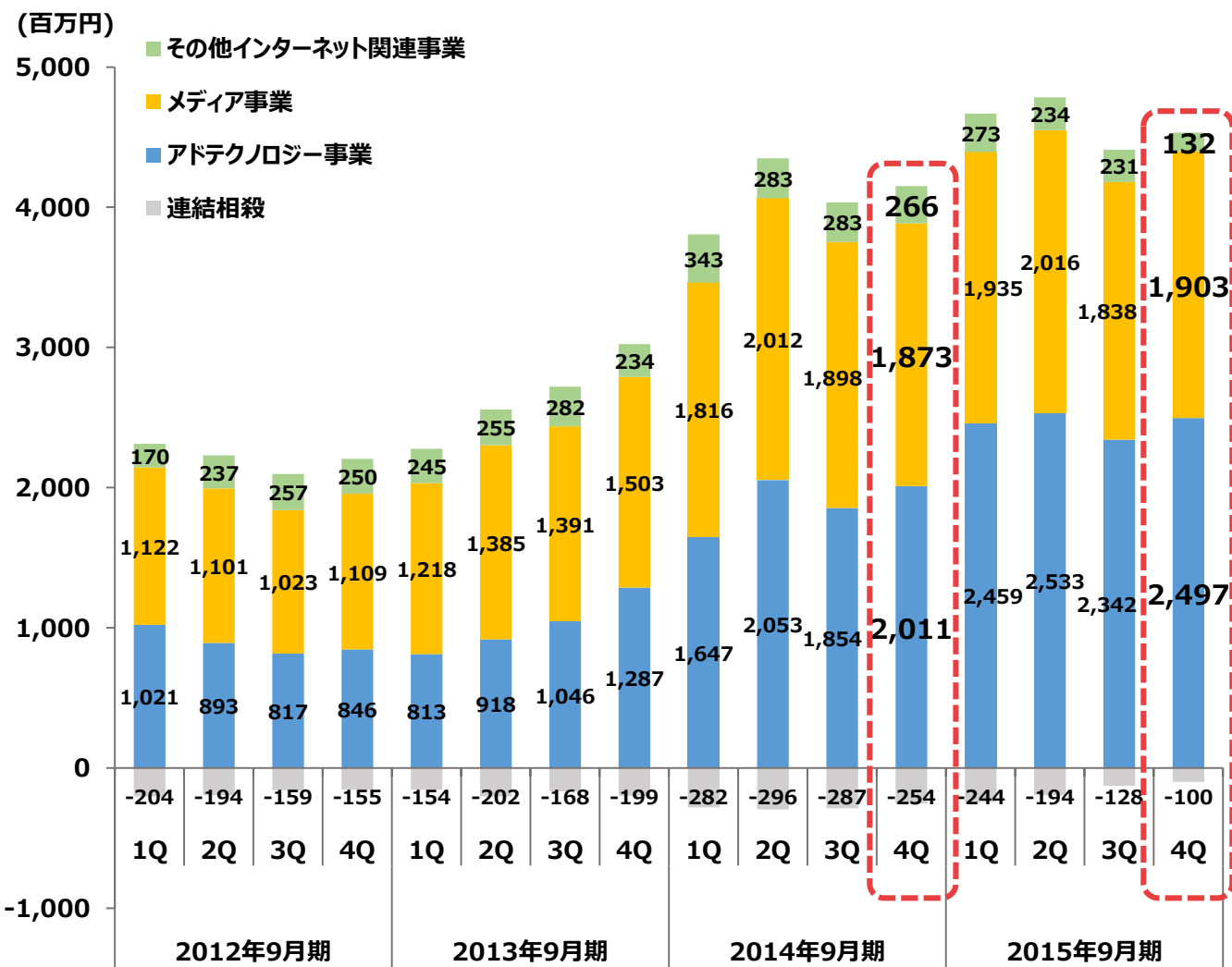
前年同四半期比

18.5%増

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# セグメント別売上高 四半期推移

▶ 引き続きアドテクノロジー事業の成長が全社の成長を牽引。



アドテクノロジー事業  
売上高

24.9億円

前年同四半期比

24.2%増

メディア事業  
売上高

19.0億円

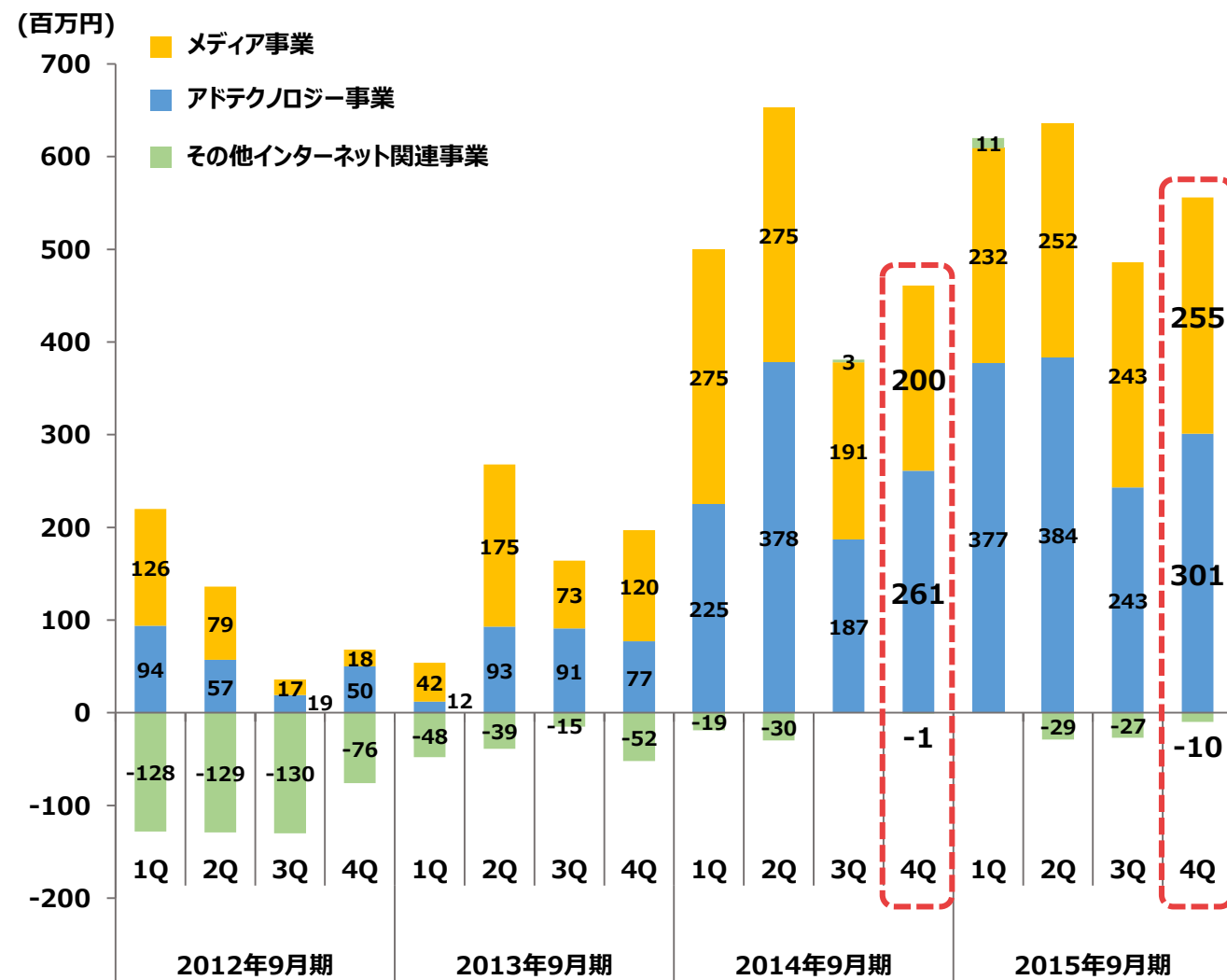
前年同四半期比

1.6%増

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# セグメント別営業利益 四半期推移

▶ アドテクノロジー事業、メディア事業ともに順調に推移。



アドテクノロジー事業  
営業利益

3.0億円  
前年同四半期比

15.1%増

メディア事業  
営業利益

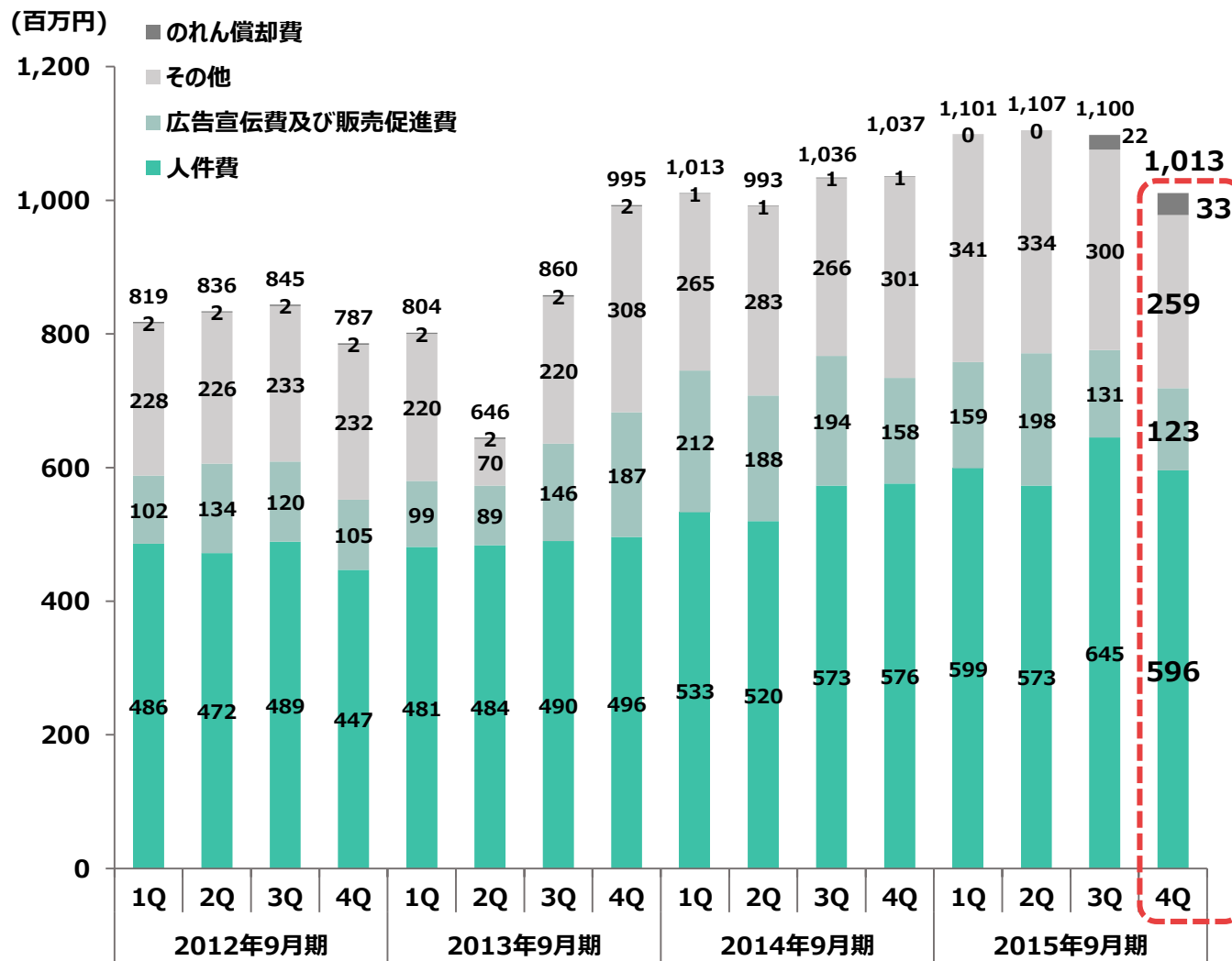
2.5億円  
前年同四半期比

27.6%増

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 連結販売管理費 四半期推移

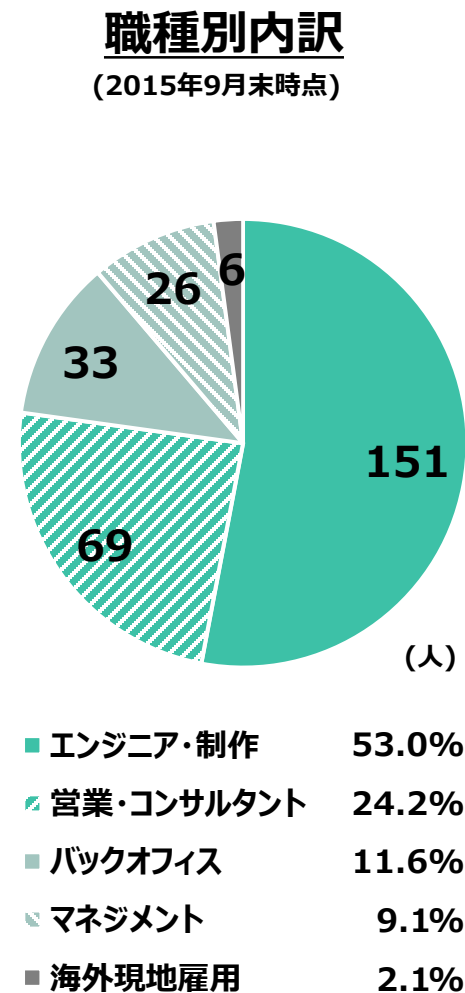
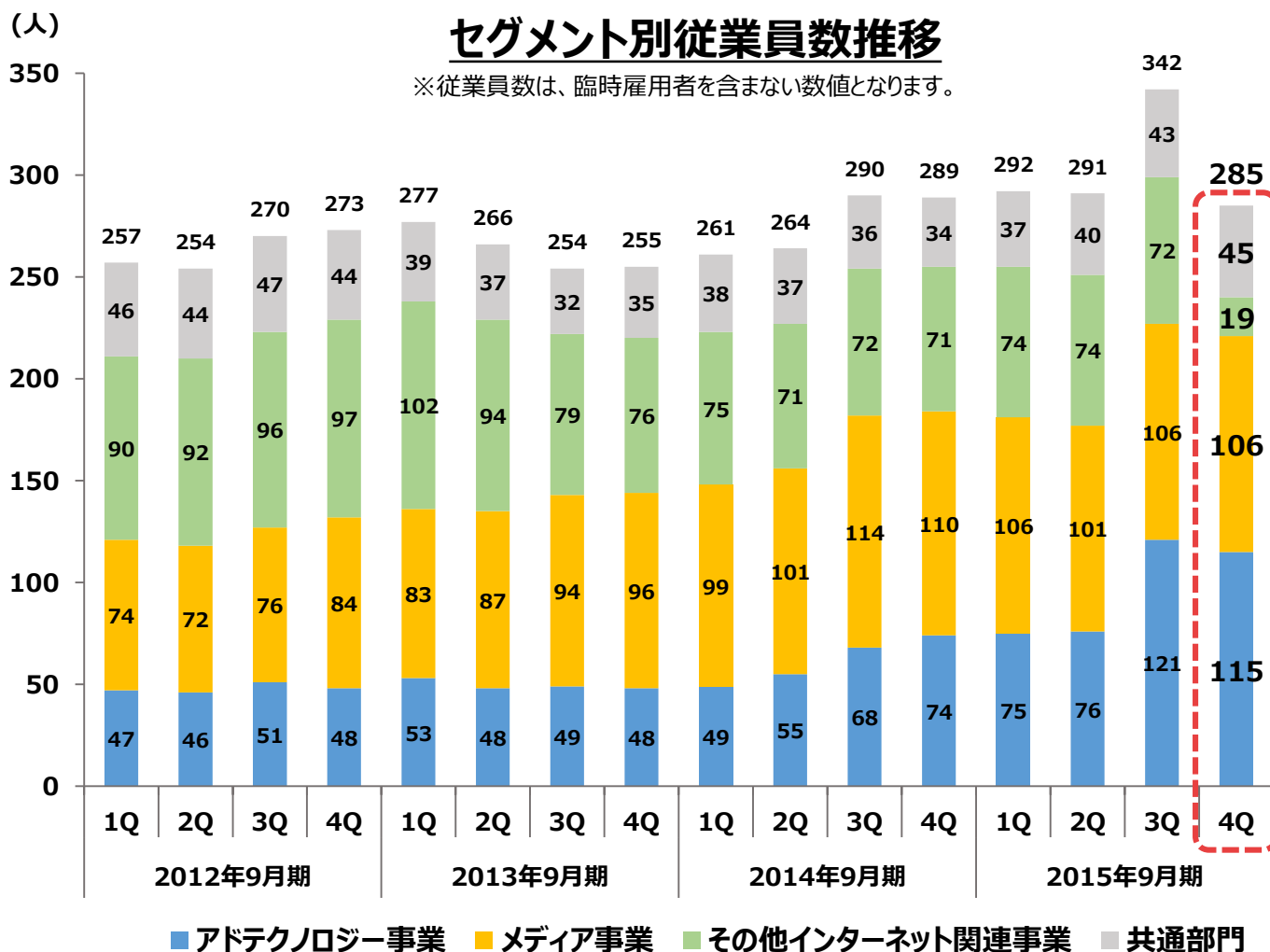
▶ グループ内でのリサーチ事業の再編により人件費が前四半期比で減少。



※2013年9月期2Qのその他は、過去分の決算修正につき変則となっております。

# 連結従業員数

▶ グループ内でのリサーチ事業の再編により人員数が前四半期比で減少。



# 四半期連結損益計算書

▶ 前年同四半期比で増収増益、のれん償却前営業利益では25.3%成長。

リサーチ事業の再編による持分変動益（3.9億円）等を特別利益として計上。

(百万円)	2015年9月期4Q 2015年7月～9月	2014年9月期4Q 2014年7月～9月	前年同四半期比
売上高	4,433	3,896	+13.8%
売上総利益	1,560	1,498	+4.1%
売上総利益率	35.2%	38.5%	-3.3pt
販売管理費	1,013	1,037	-2.3%
営業利益	546	461	+18.5%
営業利益率	12.3%	11.8%	+0.5pt
(のれん償却前営業利益)	580	463	+25.3%
(のれん償却前営業利益率)	13.1%	11.9%	+1.2pt
経常利益	471	484	-2.6%
税引前利益	819	481	+70.4%
当期純利益	600	226	+165.1%

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。



# アジェンダ

---

- |    |  |                |              |
|----|--|----------------|--------------|
| 01 |  | 連結決算概要         | P 3          |
| 02 |  | <b>主要事業概要</b>  | <b>P 2 5</b> |
| 03 |  | 市場の概況と今後の事業展開  | P 4 1        |
| 04 |  | 2016年9月期連結業績予想 | P 4 8        |
| 05 |  | 参考資料           | P 5 5        |

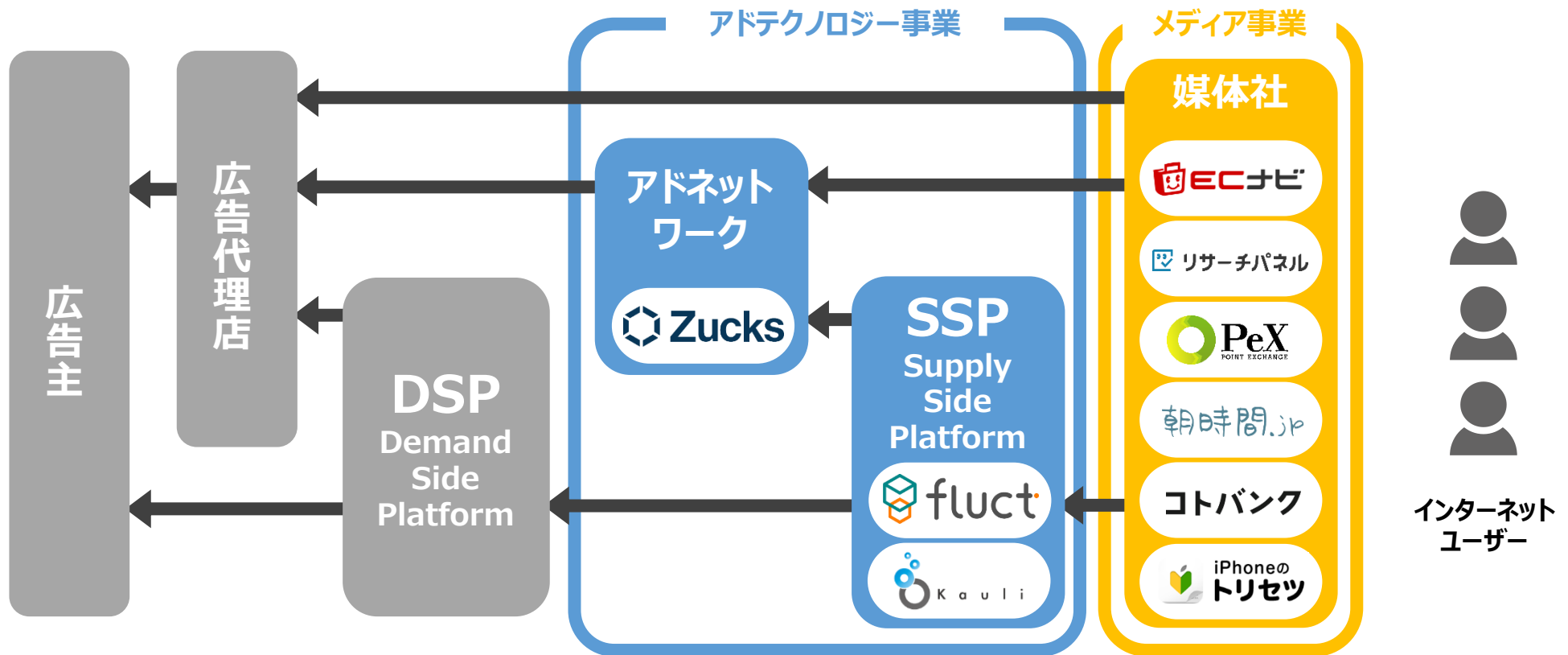
# 事業構成

▶ アドテクノロジー事業とメディア事業を中心に事業展開。



# 主要事業のビジネスモデル

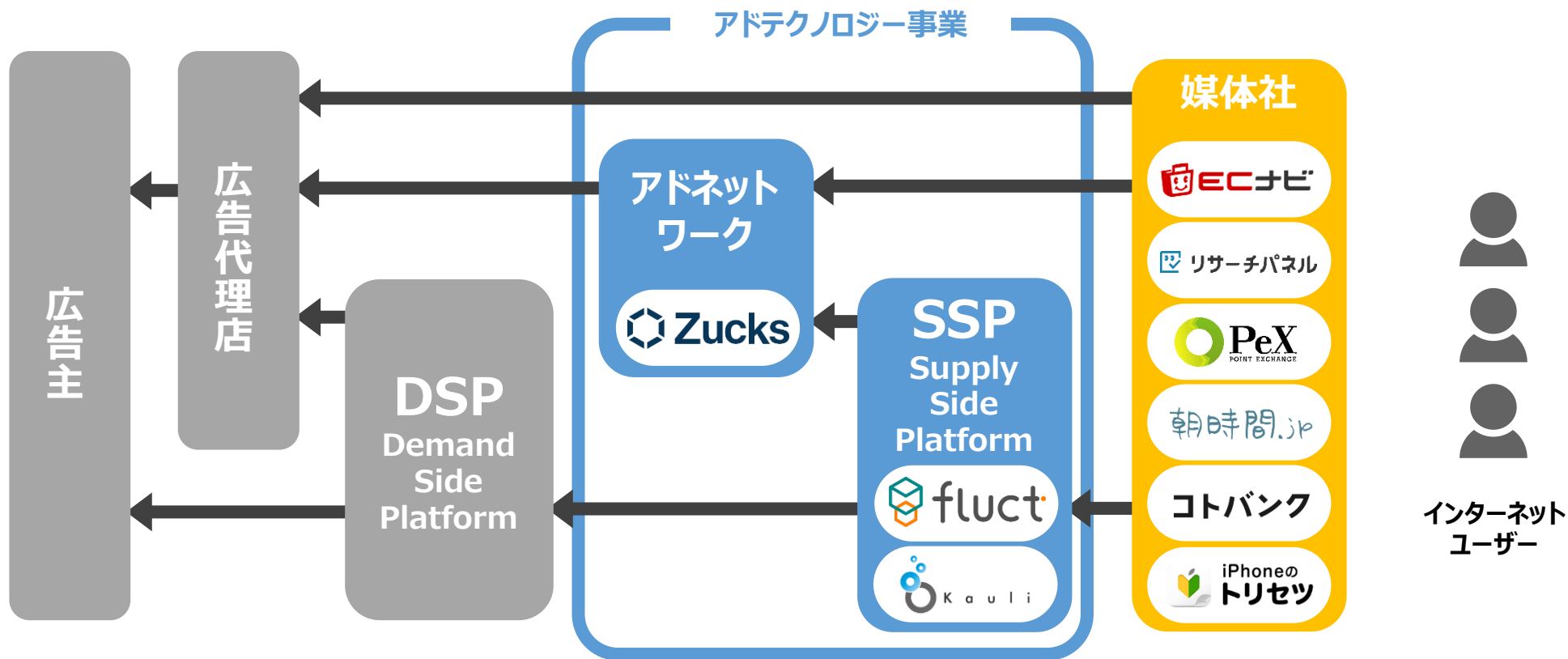
- ▶ 主に女性をターゲットにしたメディア事業と、当社含む複数の媒体社に対して SSPやアドネットワーク等を提供するアドテクノロジー事業を展開。



**アドテクノロジー事業**

# アドテクノロジー事業の位置づけ

- ▶ 媒体社に対して広告収益の最大化を支援するSSPを中心に展開。  
スマートフォン分野においてはアドネットワークも運営。



# アドテクノロジー事業の強み

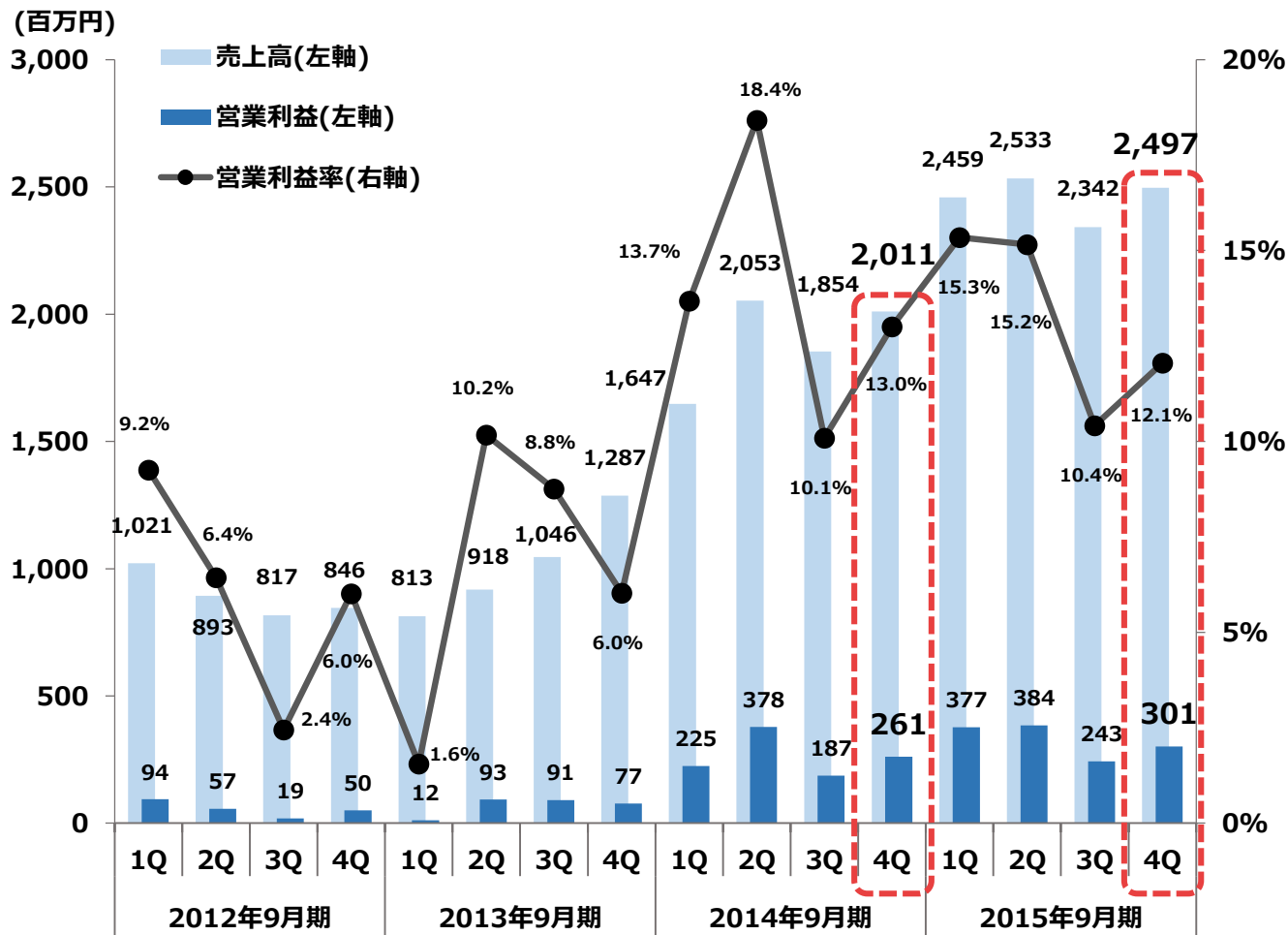
- ▶ 自社媒体運営のノウハウを活かした商品開発や提案/コンサル、また媒体社に対して広告収益最大化を実現する様々なプロダクトやサービスをワンストップで提案/コンサルティングできること。



# アドテクノロジー事業業績 四半期推移

▶ 売上高、営業利益ともに順調に推移。

10月より子会社adingoの社名を「fluct」に変更。社名とサービス名を同一にしてブランド強化。



売上高

24.9億円

前年同四半期比

24.2%増

営業利益

3.0億円

前年同四半期比

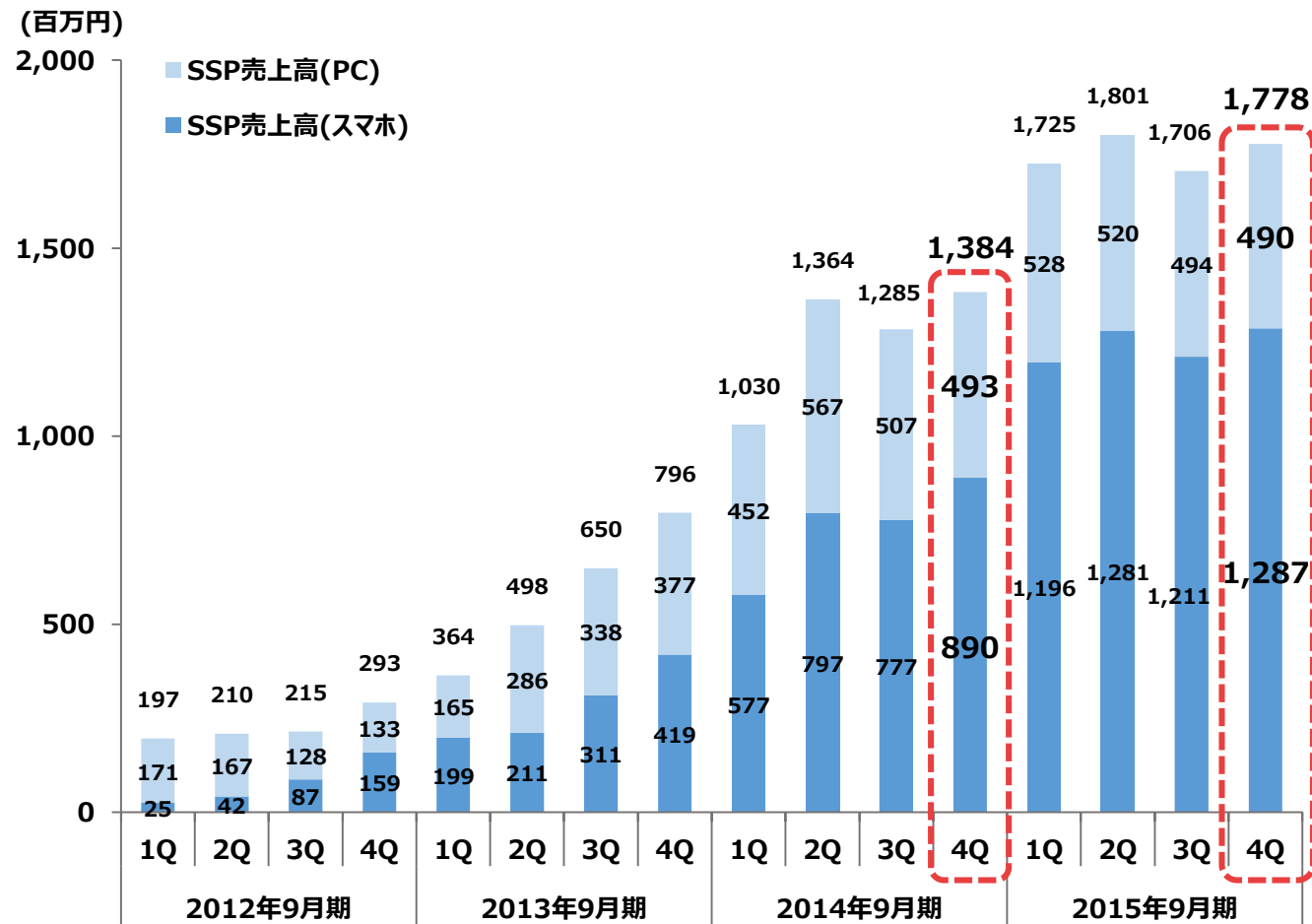
15.1%増

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# SSP売上高※1 四半期推移

▶ 前年同四半期比で28.5%の増収。

スマホ向けSSP売上高は前年同四半期比で44.6%増と過去最高。



SSP売上高

17.7億円

前年同四半期比

28.5%増

スマホSSP売上高

12.8億円

前年同四半期比

44.6%増

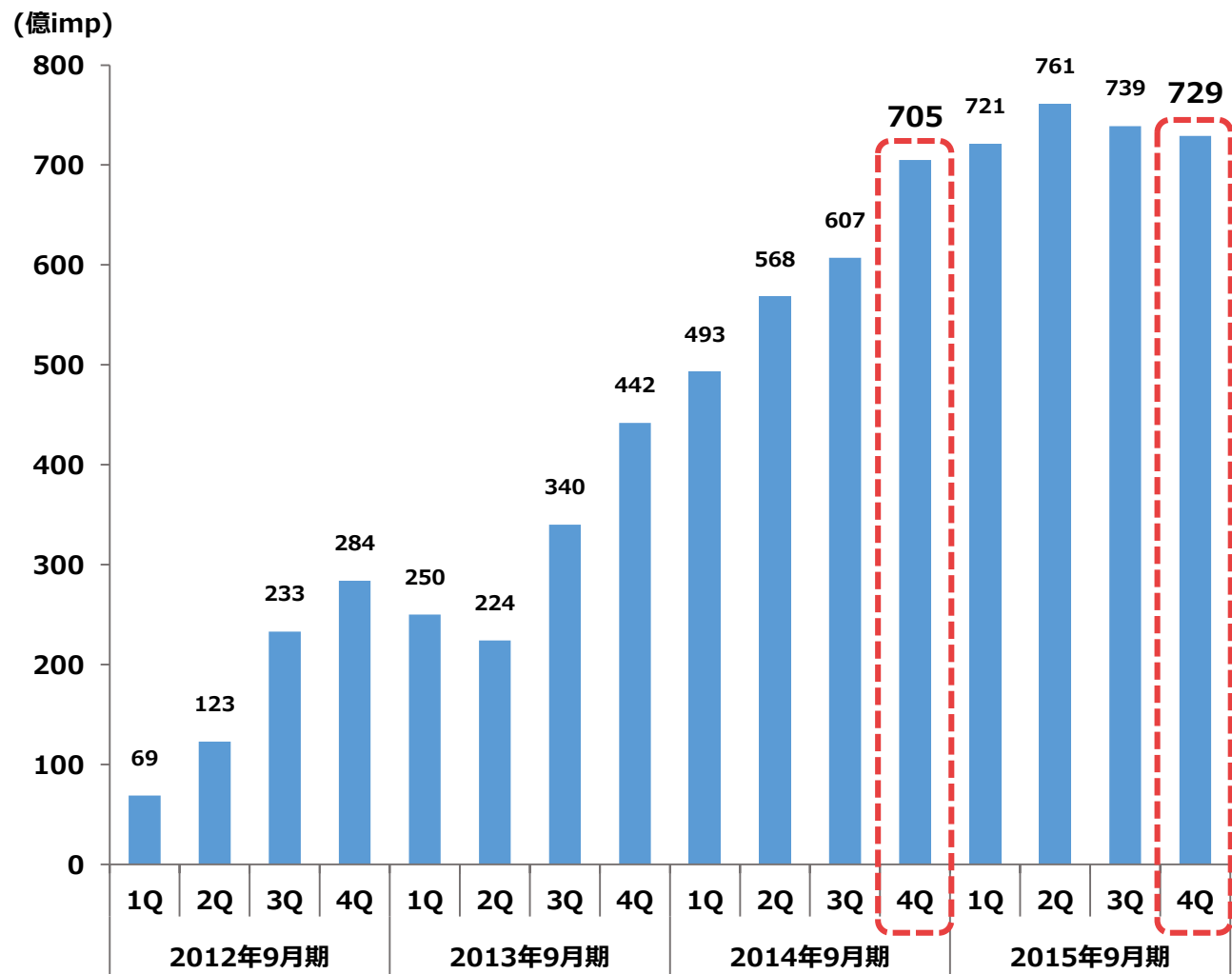
※1：「fluct」の売上であり、「Kauli」分を含めておりません。

※2：2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。



# SSP配信imp数※ 四半期推移

▶ 今後は、量よりも質を強化していくフェーズへ。



SSP配信imp数

729億

前年同四半期比

3.4%増

※SSP配信imp数：「fluct」を通じて配信可能な広告表示回数の合計であり、「Kauli」分は含めておりません。

# 株式会社ゴールドスポットメディアとの資本業務提携

- ▶ ゴールドスポットメディア社とリッチメディア・動画広告分野における包括的な資本業務提携。  
同社を持分法適用関連会社に。



会社名 : 株式会社ゴールドスポットメディア  
URL : <http://www.goldspotmedia.co.jp/>  
所在地 : 東京都渋谷区道玄坂1-20-1  
代表取締役 : 三谷 幸洋  
設立 : 2013年8月  
出資金額 (比率) : 100百万円 (25.0%)

## 事業の概要

マルチデバイス向けリッチメディア広告及び動画広告の制作・配信ソリューションを提供するアドテクノロジーベンダー。

HTML5やJavaScriptを使用した多種多様なリッチメディア広告で、エンターテインメント・一般消費財・自動車など多くのナショナルクライアントの豊富な利用実績を有する。

## 提携の概要

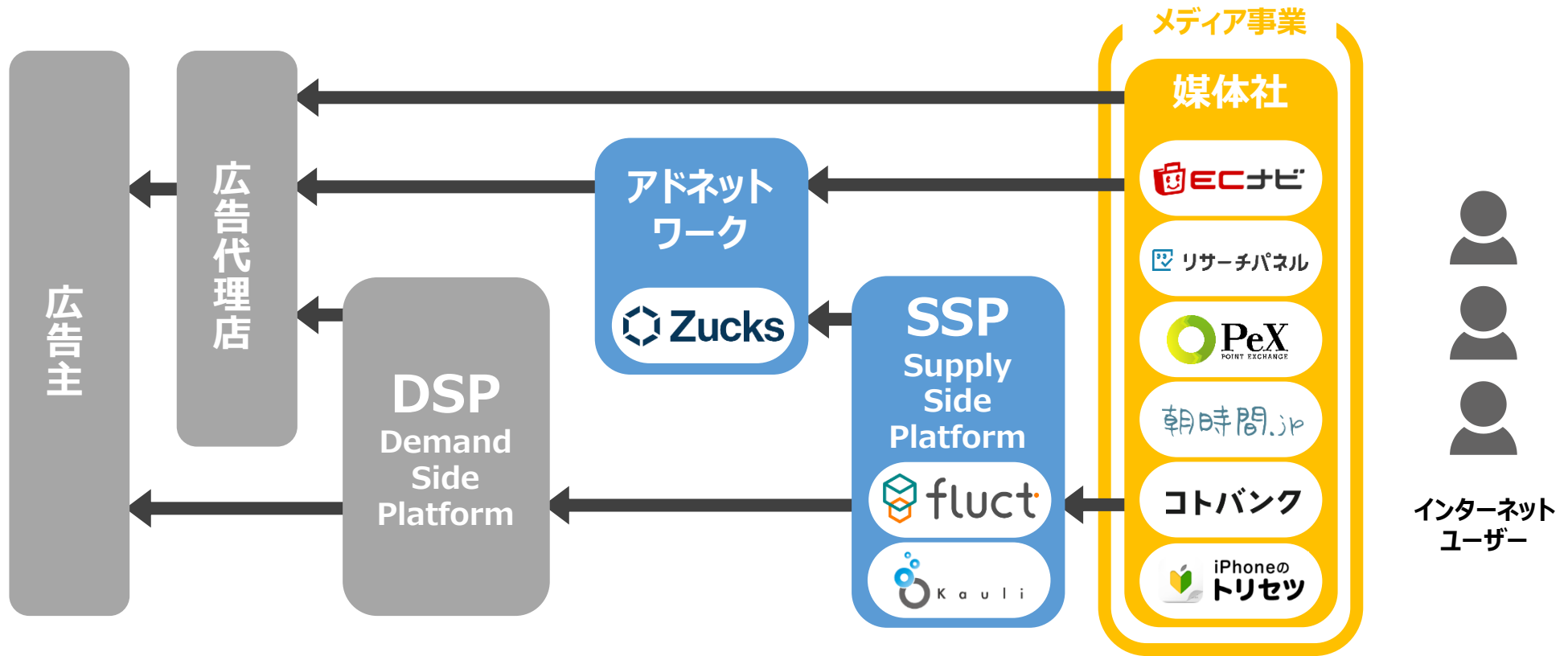
リッチメディア広告及び動画広告分野に関しての包括的な業務提携。  
今後は、当社の取引先メディアに対しての動画広告関連のソリューションの提供や、共同での事業開発など幅広く協業を検討。



# メディア事業

# メディア事業の位置づけ

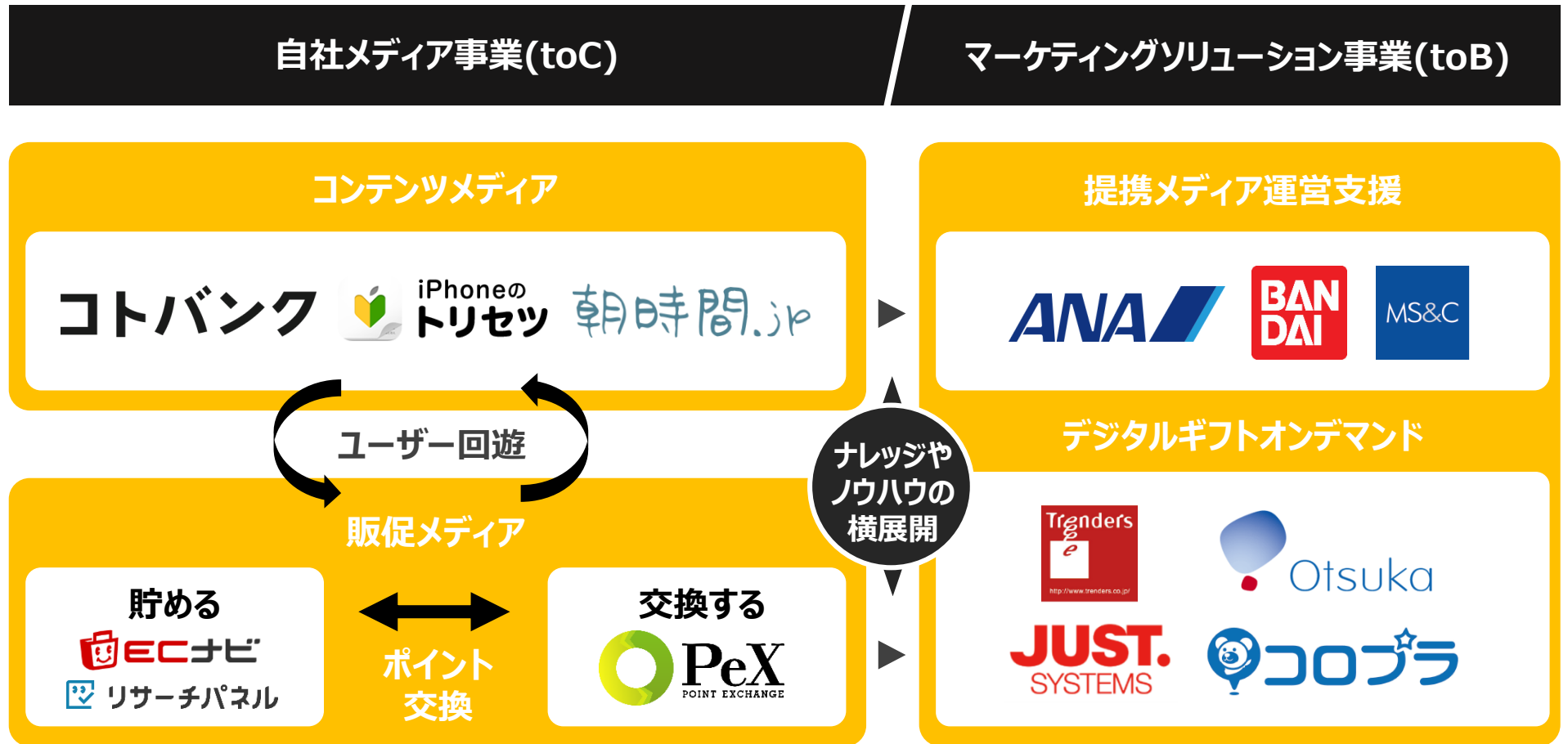
▶ 主に女性向けの販促メディアやコンテンツメディアを企画・運営。



← 広告枠販売の流れ

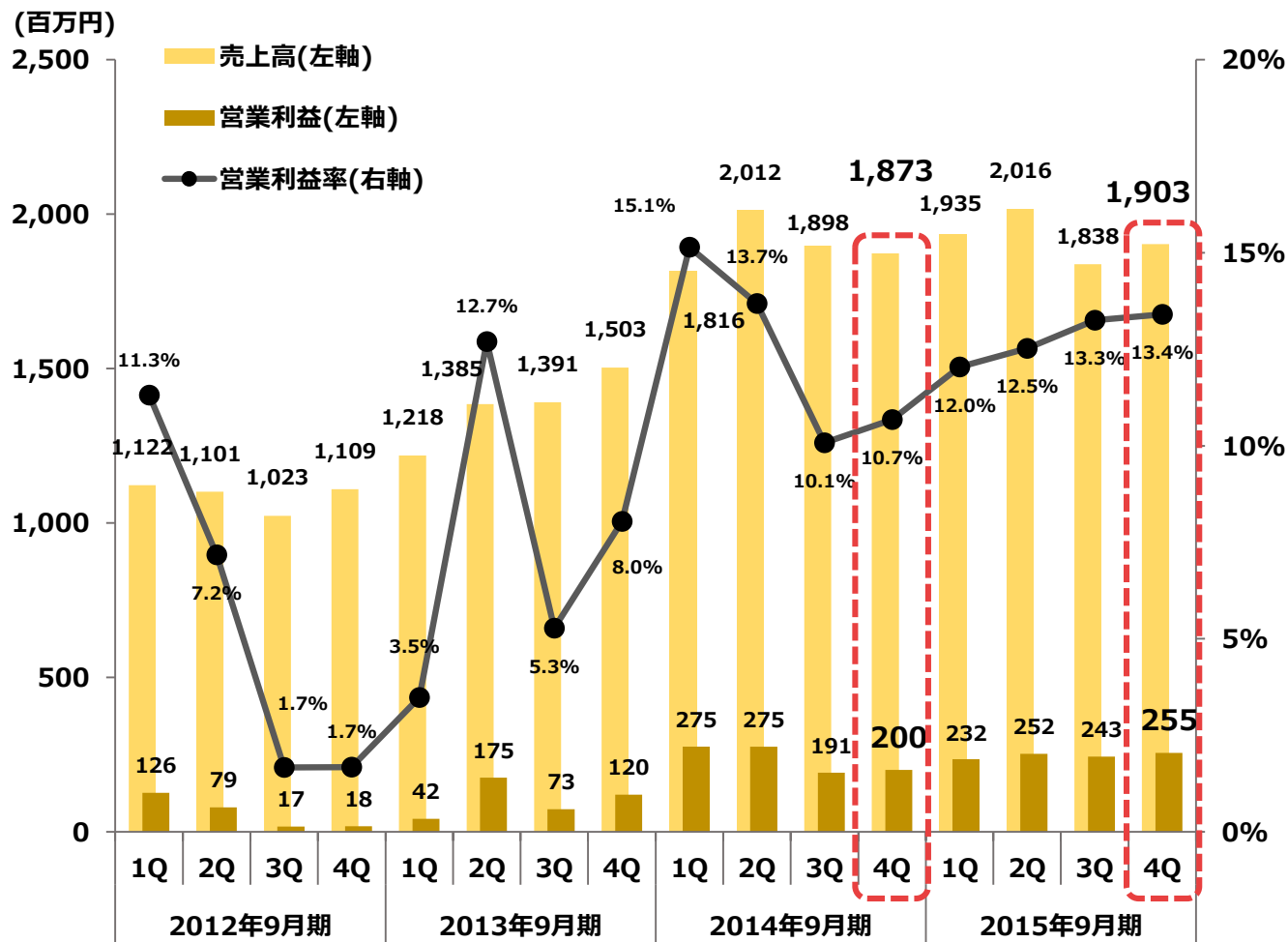
# メディア事業の全体像

- ▶ 自社メディア事業として販促メディアとコンテンツメディアを運営。  
メディア運営の知見を活用して企業向けに各種マーケティングソリューションを提供。



# メディア事業業績 四半期推移

- ▶ 売上高は前年同四半期比では微増となるも、営業利益では前年同四半期比で27.6%の増益。  
営業利益率も継続的に上昇。



売上高

19.0億円

前年同四半期比

1.6%増

営業利益

2.5億円

前年同四半期比

27.6%増

※2014/9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

**その他インターネット関連事業**

# VOYAGE SYNC GAMES社より「デッキヒーローズ」をリリース

▶ シンガポール拠点のIGG社（香港8002）の作品「デッキヒーローズ」を9月にリリース。

Apple社のAppStoreで無料総合ランキング最高1位。

<ゲームパブリッシング（カルチャライズ、プロモーション等）>

株式会社VOYAGE SYNC GAMES



代表者：青柳 智士

設立：2014年8月

出資比率：80%

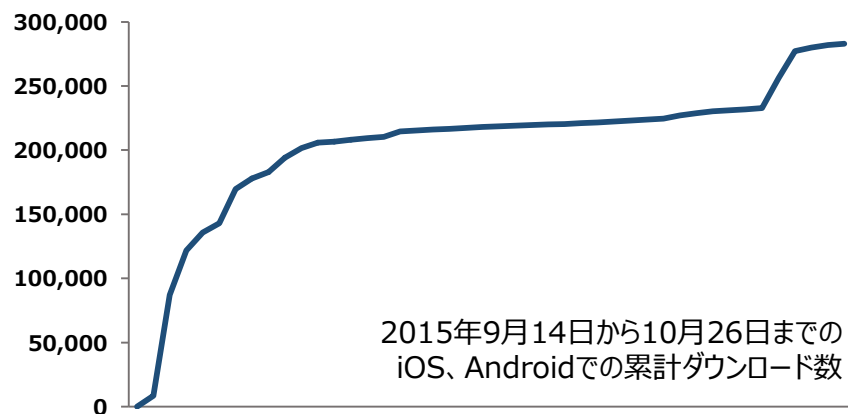
事業内容：ゲームパブリッシング事業等

IGG Inc.



- ・本社：シンガポール
- ・2013年10月香港市場に上場
- ・世界200以上の地域に、オンラインゲーム事業を展開するグローバルゲームディベロッパー。

「デッキヒーローズ」累計ダウンロード数



2015年9月14日から10月26日までの  
iOS、Androidでの累計ダウンロード数

全世界700万ユーザー突破の本格派カードバトルゲーム





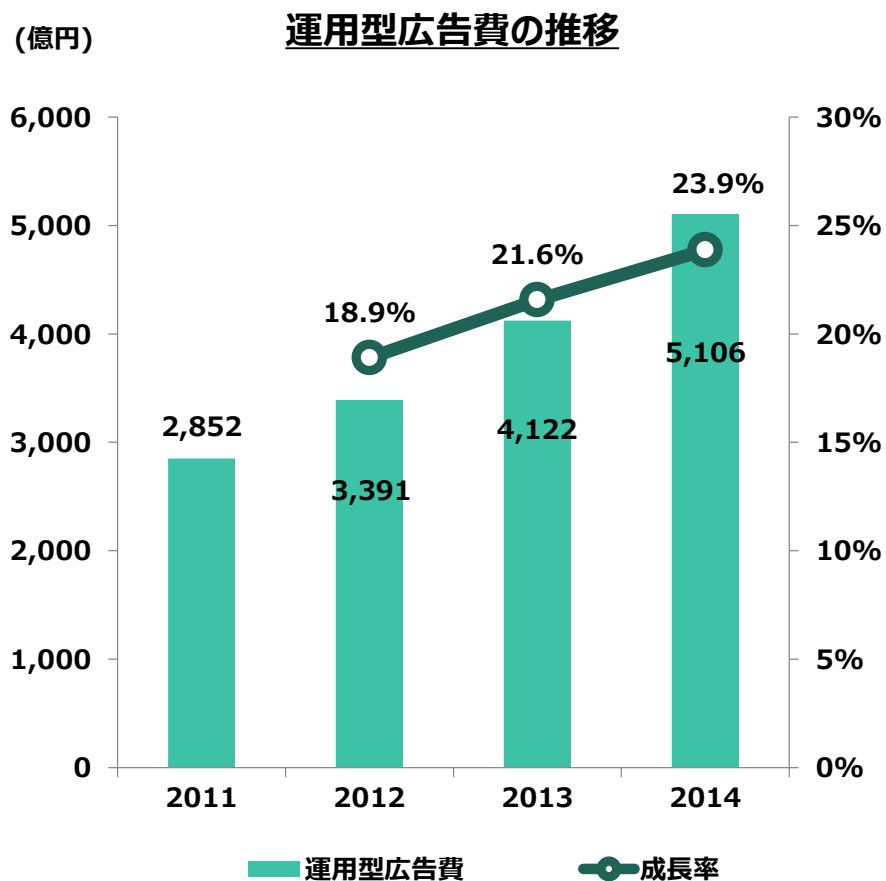
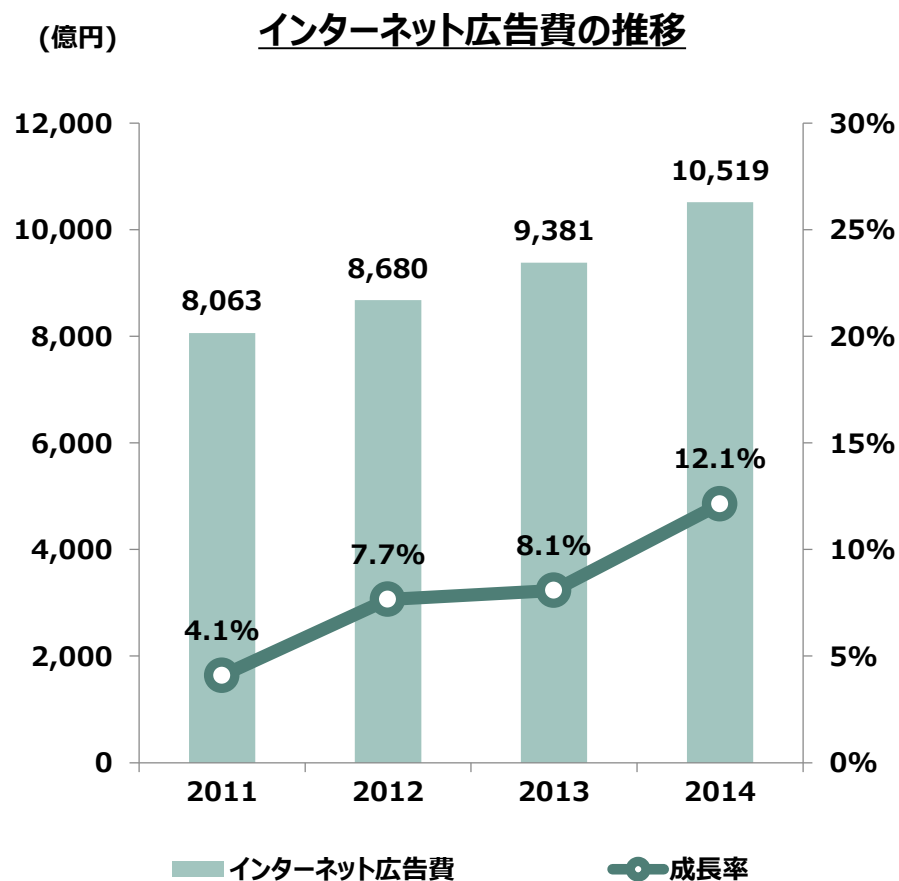
# アジェンダ

---

- |    |  |                      |              |
|----|--|----------------------|--------------|
| 01 |  | 連結決算概要               | P 3          |
| 02 |  | 主要事業概要               | P 2 5        |
| 03 |  | <b>市場の概況と今後の事業展開</b> | <b>P 4 1</b> |
| 04 |  | 2016年9月期連結業績予想       | P 4 8        |
| 05 |  | 参考資料                 | P 5 5        |

# インターネット広告市場

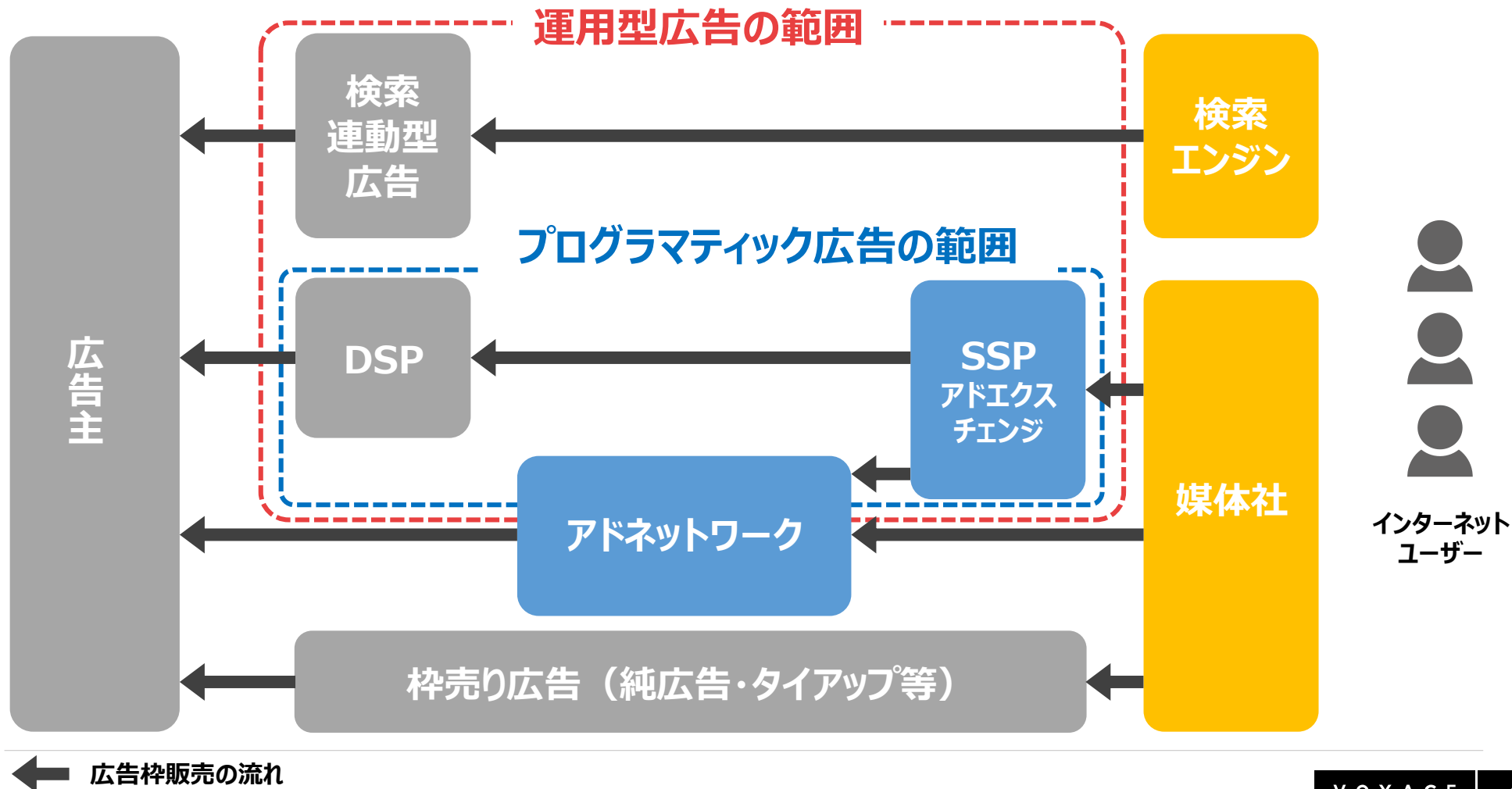
- ▶ 日本のインターネット広告市場は順調に拡大し、2014年に初の1兆円超え。  
特に近年は運用型広告が急成長している。



出所：株式会社電通「2014年 日本の広告費」より

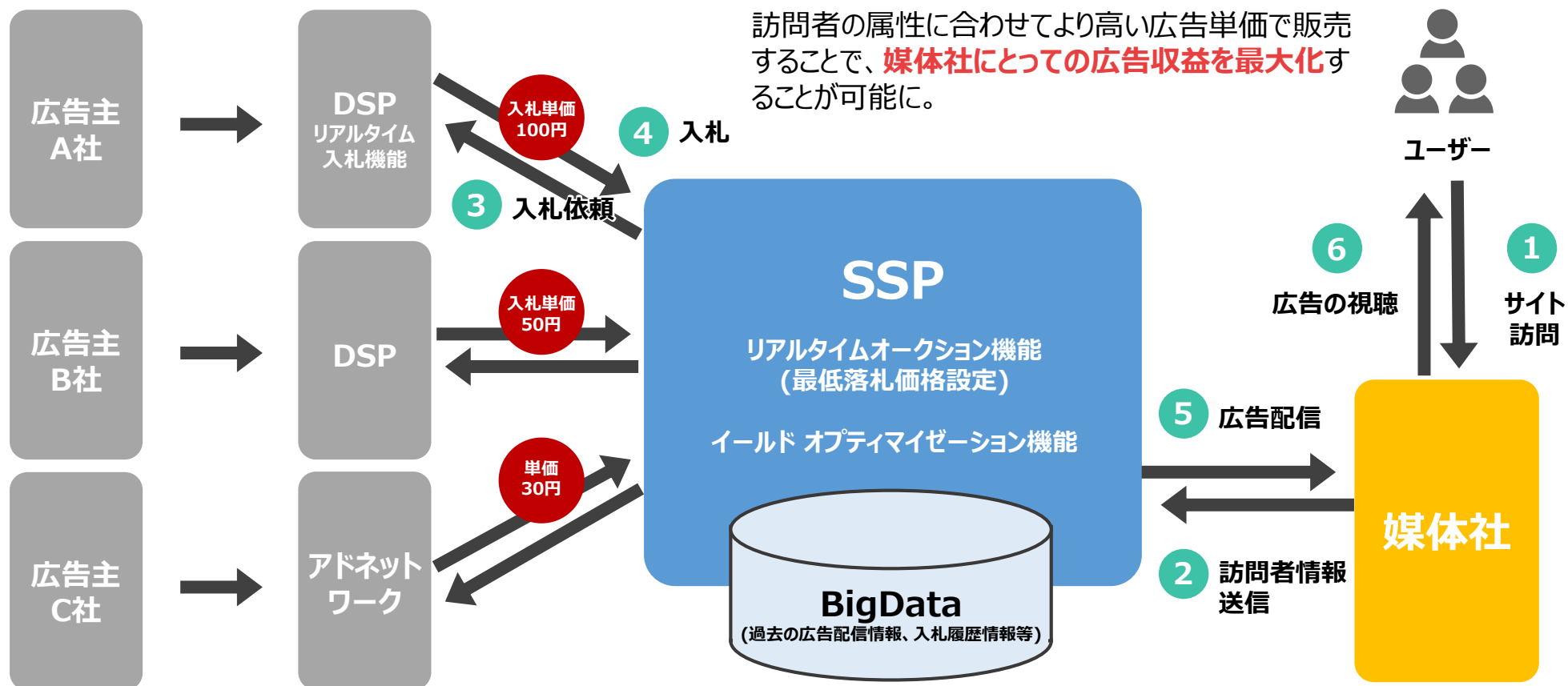
# 運用型広告とは

- ▶ 膨大なデータを処理するプラットフォームにより、広告配信の最適化を行う広告手法。検索連動広告や一部のアドネットワーク、DSP/アドエクスチェンジ/SSPが典型例。



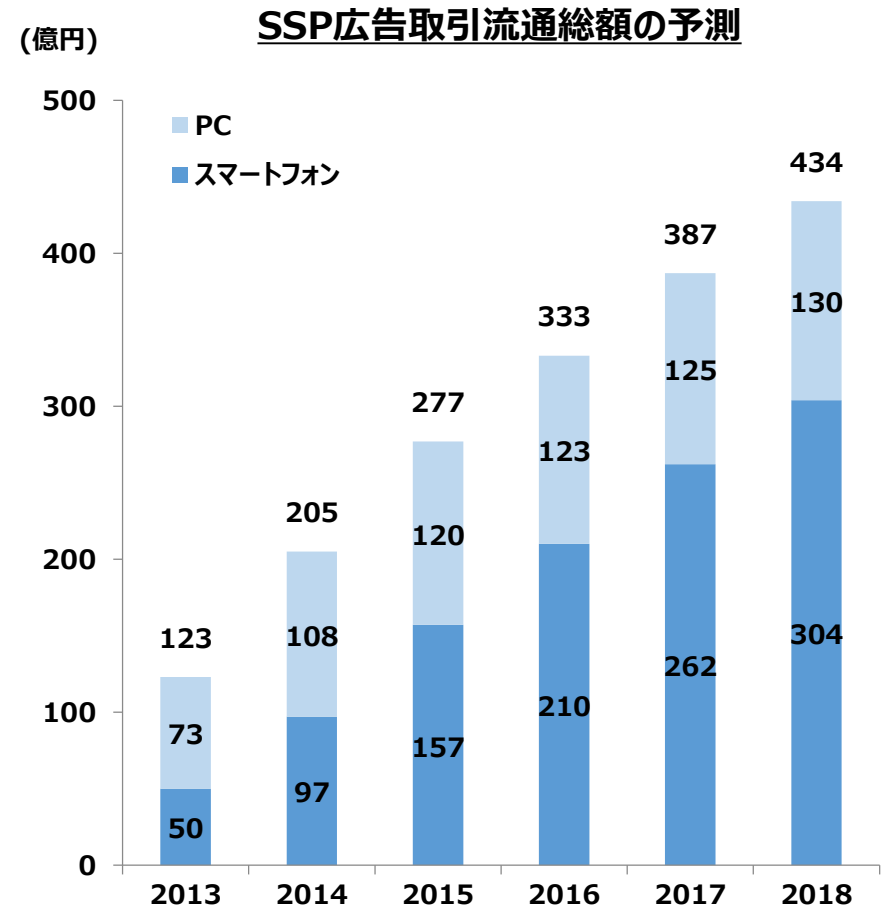
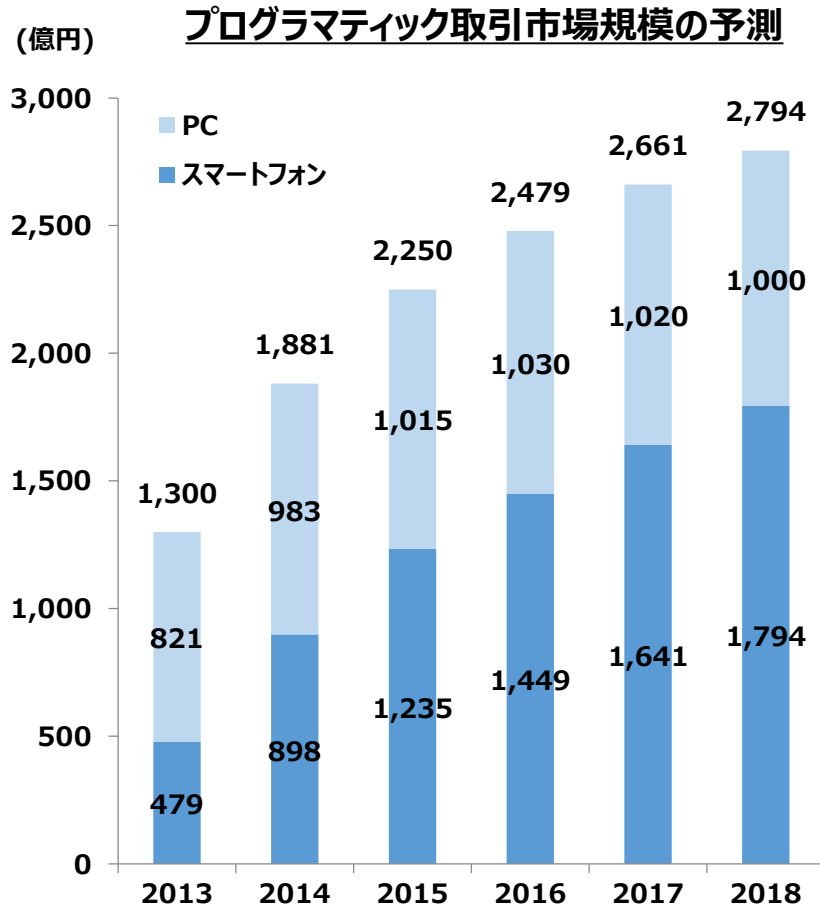
# RTB (Real Time Bidding)の仕組み

- ▶ 「RTB」とは、広告プラットフォームを通じて広告が表示される瞬間にオークション形式で最も条件の良い広告を掲載する広告取引のこと。



# SSP広告取引流通総額

▶ プログラマティック取引※市場の拡大に合わせ、SSP広告取引流通総額は順調に拡大。

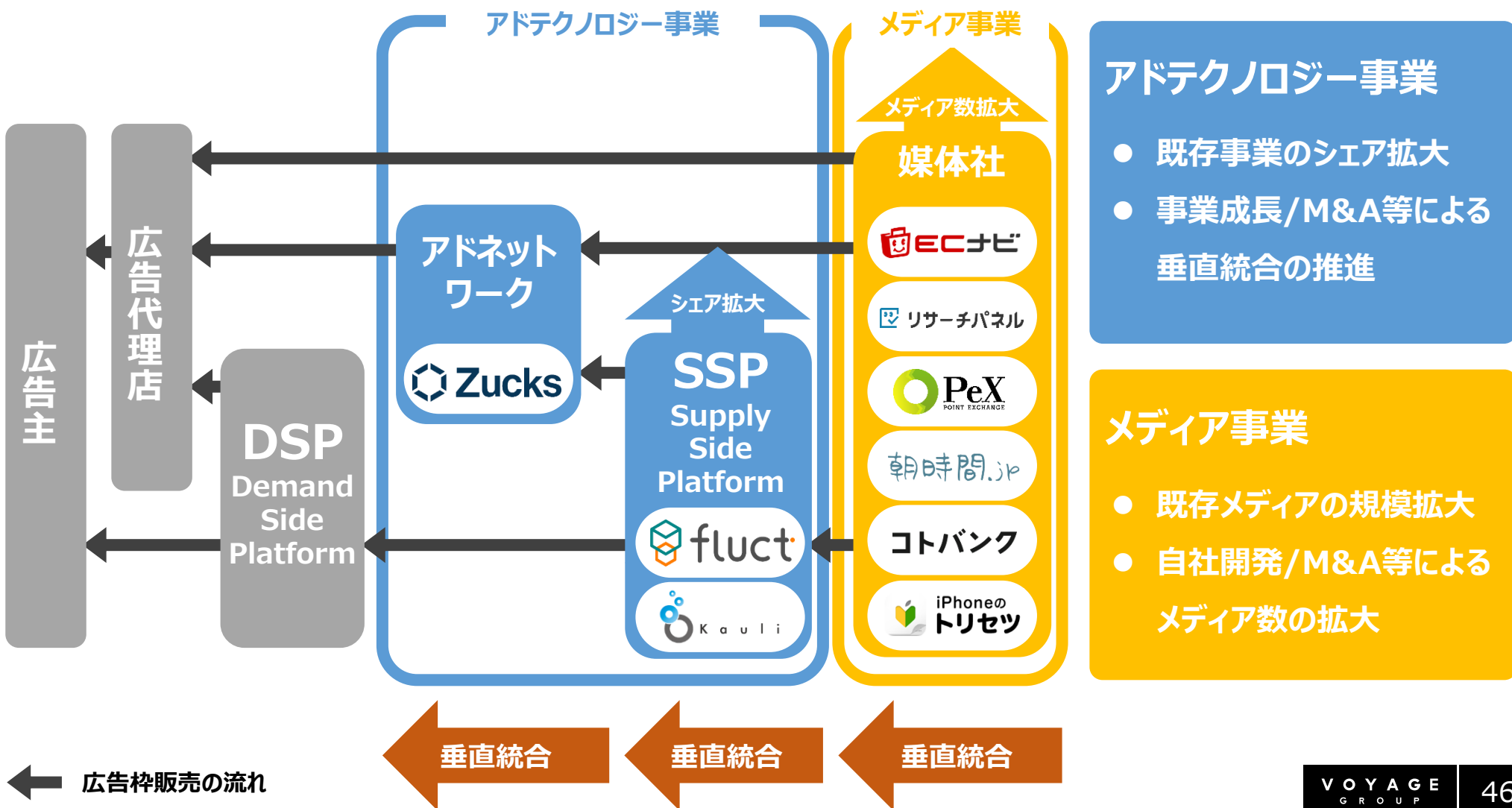


出所：当社/シード・プランニング共同調べ 2015年8月 (<http://voyagegroup.com/news/press/2015/581/>)

※プログラマティック取引：広告枠の買い手である広告主と広告枠の売り手である媒体社が、DSPやSSPなどの広告配信プラットフォームを介し、オンライン上で自動取引する方法。

# 当社の成長シナリオ

▶ インターネット広告のバリューチェーンにおいて、規模/シェア拡大×垂直統合による成長を目指す。



# 中長期での成長イメージ

▶ プログラマティック取引市場の拡大を背景に、主にアドテクノロジー事業での成長を図っていきます。



# アジェンダ

---

- |    |  |                       |              |
|----|--|-----------------------|--------------|
| 01 |  | 連結決算概要                | P 3          |
| 02 |  | 主要事業概要                | P 2 5        |
| 03 |  | 市場の概況と今後の事業展開         | P 4 1        |
| 04 |  | <b>2016年9月期連結業績予想</b> | <b>P 4 8</b> |
| 05 |  | 参考資料                  | P 5 5        |



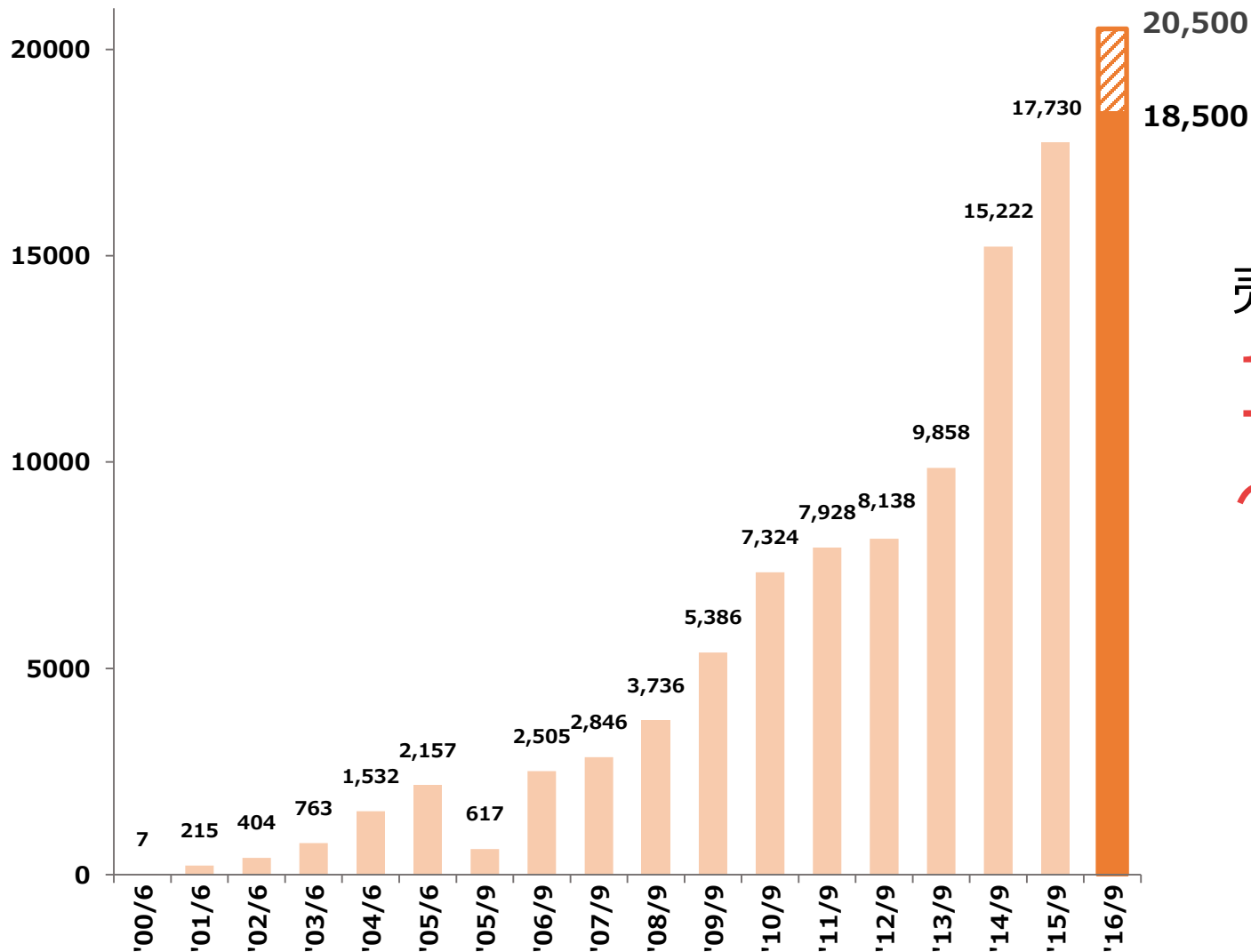
# 2016年9月期 経営方針

▶ 中長期での成長のためにM&Aを含め積極的に投資を行っていく。



# 2016年9月期 連結売上高予想

(百万円)



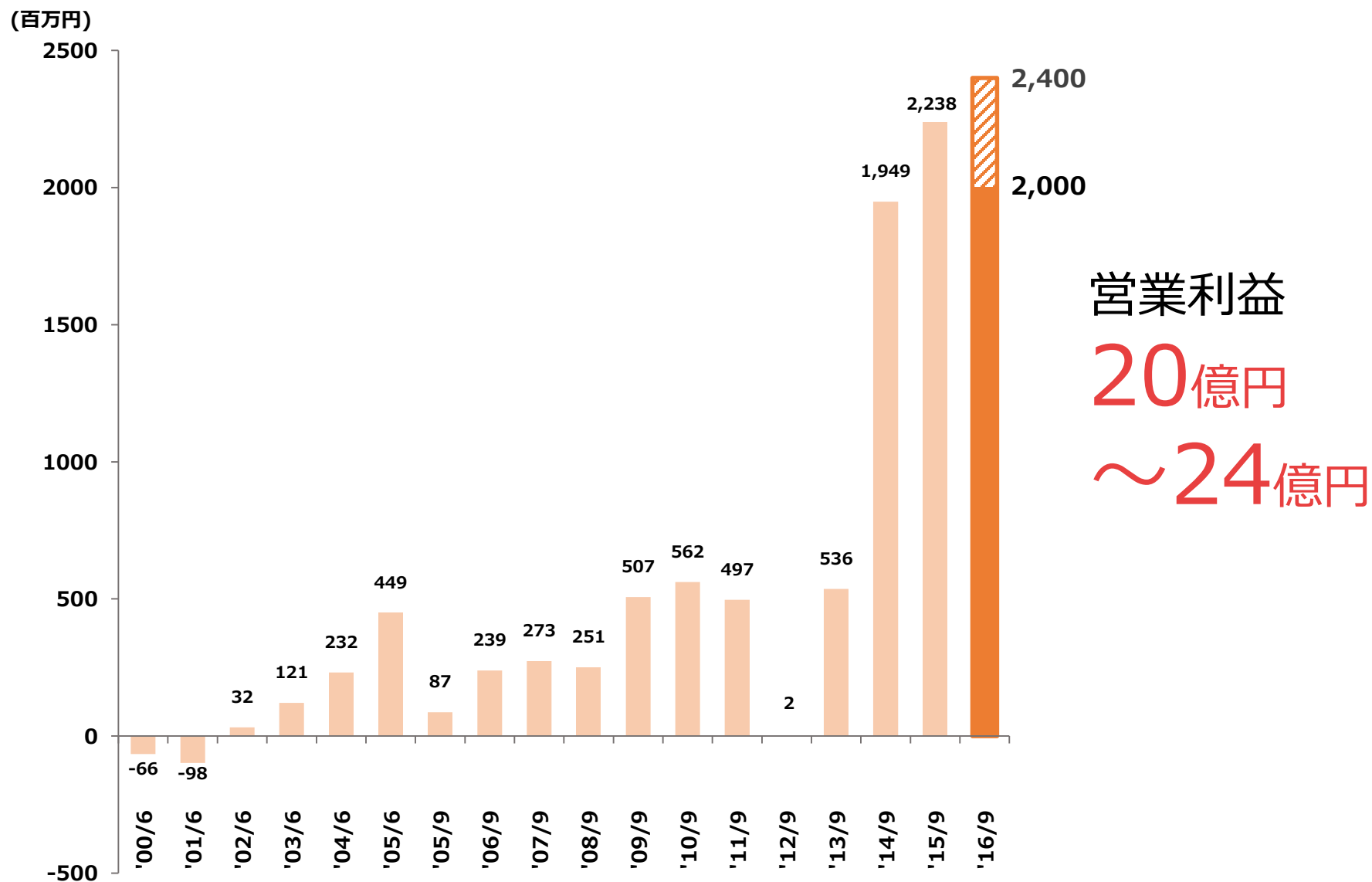
売上高

185億円

～205億円

※2005年9月期は決算期変更による3ヶ月の変則決算、2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 2016年9月期 連結営業利益予想



※2005年9月期は決算期変更による3ヶ月の変則決算、2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 2016年9月期 通期連結業績予想

▶ 事業環境の変化は激しく、レンジ形式での業績予想とする。

当期純利益は2015年9月期に計上した持分変動益（3.9億円）等の反動により減益見通し。

(百万円)	2015年9月期 実績	2016年9月期 業績予想		前期比	
売上高	17,730	18,500	～ 20,500	+4.3%	～ +15.6%
営業利益	2,238	2,000	～ 2,400	-10.6%	～ +7.2%
(のれん償却前営業利益)	2,296	—	—	—	—
当期純利益	1,646	1,200	～ 1,500	-27.1%	～ -8.9%

※2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 株主還元方針について

## 基本方針

事業の継続的な成長のための投資を最優先事項としながらも、継続的な配当及び機動的な自己株式取得も実施していく。

## 配当予想

(百万円)	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	普通配当	東証一部指定記念配当	合計			
2015年9月期	10.00円	10.00円	20.00円	237百万円	14.4%	4.6%
2016年9月期 (予想)	10.00円	—	10.00円			

## 株主優待

### (1) 対象となる株主様

毎年第2四半期末（3月31日）及び期末（9月30日）現在の株主名簿に記載又は記録された1単元（100株）以上を保有されている株主様を対象といたします。

### (2) 株主優待の内容

対象となる株主様1名につき一律に、当社の連結子会社である株式会社VOYAGE MARKETINGが提供するデジタルギフトサービス「ギフピー」(<http://gifpy.jp/>)においてご利用可能なギフトコード1,000円相当を贈呈いたします。

### (3) 贈呈の時期

発送の時期は下記を予定しております。第2四半期末（毎年6月下旬）及び期末（毎年12月下旬）の年2回。



### ギフピー

各種ポイント・電子マネーに交換できる大変便利なデジタルギフトコードです。以下の3種類のデジタルギフトを選んで、好きな商品に交換できます。

amazon.co.jp ギフト券    iTunes ギフト券    PeX POINT EXCHANGE

※PeXは、各種サービスから選んでポイントを交換できる総合ポイント交換サービスです。交換先は、Tポイント、ANA・JALのマイル、Suicaポイント、楽天Edy、Web Money、WAONポイント、nanacoポイントなどさまざま。国内全銀行に、ポイントを現金として振り込むことも可能です。

# 自己株式の取得について

▶ 資本効率の向上と株主還元を目的として、自己株式の取得を行う。

取得する株式の種類	普通株式
取得する株式の総数	100,000株（上限）
発行済株式総数に対する割合	0.8%
株式の取得価額の総額	200百万円（上限）
取得期間	2015年10月29日から2015年11月27日まで
（参考）発行済株式総数	11,890,700株（2015年9月30日時点）

# アジェンダ

---

01		連結決算概要	P 3
02		主要事業概要	P 2 5
03		市場の概況と今後の事業展開	P 4 1
04		2016年9月期連結業績予想	P 4 8
05		<b>参考資料</b>	<b>P 5 5</b>

## VOYAGE GROUP

社名	株式会社VOYAGE GROUP
設立	1999年 10月 8日
資本金	9億8,955万円 (2015年9月末現在)
事業内容	アドテクノロジー事業、メディア事業
連結従業員数	285人 (2015年9月末現在) ※臨時雇用者含めない



# SOUL

創業時からの想い

# 360°スゴイ

creating a fantastic world

人も事業も会社も。社内も社外も。日本も世界も。  
ユーザーもパートナーも。利益も法令順守も。  
ワクワクもドキドキも。ロジックもエモーショナルも。  
若手も経験者も。テクノロジーもクリエイティブも。  
便利もお得も。事業開発も社会貢献も。  
個人もグループ総力戦も。それは、いままでもこれからも。

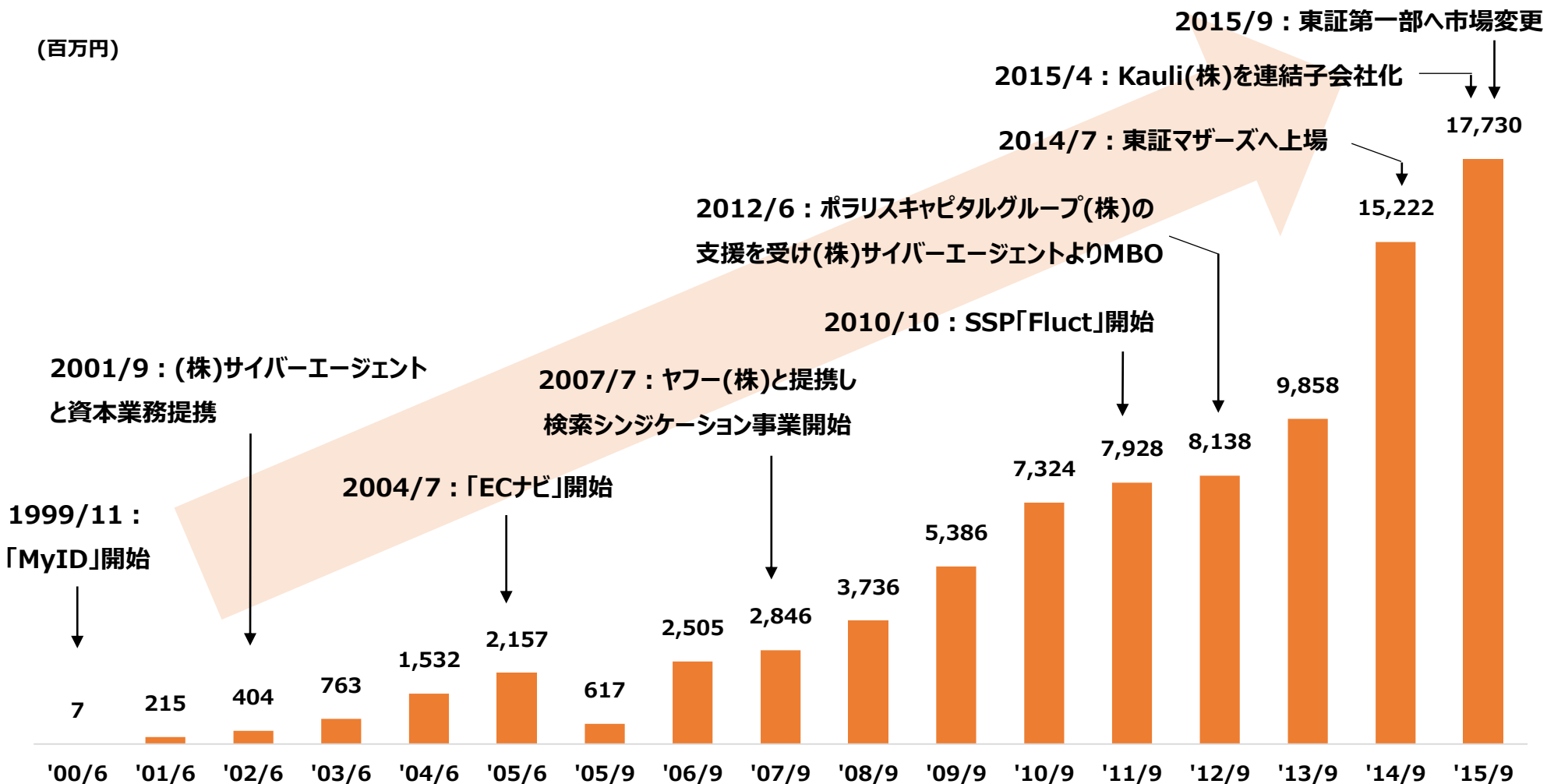
世界を変えるようなスゴイ事業をつくる！という想いで創業しました。

この創業時の想いを「SOUL（魂）」と名付けて経営理念の中核を成すものとして掲げています。

**今までも、そしてこれからも挑戦し続けていきます。**









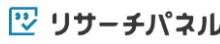




# 沿革

▶ 創業以来、ネット分野に特化した事業開発を行い、16期連続で増収を実現。








※2005年9月期は決算期変更による3ヶ月の変則決算、2014年9月期以降は会計方針変更後（5ページ参照）の数値となっております。

# 主要グループ企業一覧 <連結子会社>

セグメント区分	会社名		持分比率	主な事業内容
アドテクノロジー事業	株式会社fluct		100.0%	媒体社向け広告配信プラットフォーム「fluct」の運営
アドテクノロジー事業	株式会社intelish		51.0%	プライベートマーケットプレイスの運営
アドテクノロジー事業	Kauli株式会社		100.0%	媒体社向け広告配信プラットフォーム「Kauli」の運営
アドテクノロジー事業	株式会社SAICRAFT		100.0%	キャラクターを活用した収益化支援事業
アドテクノロジー事業	株式会社Zucks		100.0%	スマートフォン向け広告配信プラットフォーム「Zucks」の運営
メディア事業	株式会社VOYAGE MARKETING		100.0%	ポイント交換プラットフォーム「PeX」の運営、ポイントソリューション事業
メディア事業	株式会社ゼノシス		100.0%	通販化粧品の販売
メディア事業	株式会社メルメディア		65.0%	コンテンツメディア事業
メディア事業	株式会社リサーチパネル		60.0%	アンケートモニターサイト「リサーチパネル」の運営
その他インターネット 関連事業	株式会社VOYAGE SYNC GAMES		80.0%	ゲームパブリッシング事業
その他インターネット 関連事業	株式会社VOYAGE VENTURES		100.0%	未上場インターネット関連ベンチャー企業への事業拡大支援、企業価値向上支援、投資
その他インターネット 関連事業	株式会社サポーターズ		100.0%	就職活動支援サービス「サポーターズ」の運営
その他インターネット 関連事業	株式会社ソーシャランド		100.0%	ソーシャルメディアマーケティング事業

※50音順。2015年10月28日現在。

# 主要グループ企業一覧 <持分法適用関連会社>


会社名		持分比率	主な事業内容
株式会社ゴールドスポットメディア		25.0%	動画広告プラットフォームの提供
株式会社ドウ・ハウス		22.3%	クチコミプロモーションおよび定性情報リサーチのサービス提供
株式会社マーケティングアプリケーションズ		35.6%	オンラインマーケティングリサーチ事業
株式会社メディア・ヴァーグ		20.0%	交通にまつわるコンテンツメディア「乗りものニュース」等の運営
ログリー株式会社		22.6%	ネイティブ広告プラットフォーム「logly lift」の運営

※50音順。2015年10月28日現在。

# 直近の主なパブリシティ実績

2015年07月19日	【日経ヴェリタス14面】	発掘実力企業 VOYAGE GROUP ネット広告 嗜好にピタリ
2015年07月23日	【日本経済新聞朝刊17面】	ボヤージュ、今期10円配
2015年07月28日	【OZplus9月号 P52】	イクメンの考え方を知ろう！ 僕たちの育児の流儀 VOYAGE GROUP東村龍樹さん
2015年08月07日	【Exchange Wire】	SSP最大手のadingo、10月にfluctに社名変更しサービス名と統合
2015年08月07日	【ラジオNIKKEI 櫻井英明の投資知識研究所】	ネットの海へ、出航～ VOYAGE GROUP
2015年08月26日	【Markezzine】	2018年、SSP取引流通額は434億円規模に～スマホ向け広告が貢献【VOYAGE GROUP調査】
2015年08月26日	【OPNERS】	ハリのある"潤み肌"へ「バランシングウォータージェル」発売 ViTAKT
2015年08月27日	【日本ネット経済新聞2面】	ゼノシス 通販コスメの第1弾発売
2015年08月31日	【RMSMessage P15～P16】	特集「適応」のメカニズムを探る 事例VOYAGE GROUP
2015年08月31日	【企業家倶楽部10月号 P6～P33】	宇佐美進典のすべて
2015年09月08日	【東京マーケットワイド】	VOYAGE GROUP [3688] 東証1部
2015年09月14日	【企業家倶楽部】	編集長インタビュー／無駄なことなんて何一つない VOYAGE GROUP代表取締役社長兼CEO 宇佐美進典
2015年09月27日	【日経ヴェリタス24面】	新興市場から変更続々、東証1部へ昇格1～9月は17社
2015年10月05日	【ExchangeWire Japan】	fluct、「サイト運営者向けGoogle認定パートナー」に認定別のタブで開く
2015年10月05日	【Social Game Info】	新作特集 ゲーム業界人注目...今後市場を賑やかす厳選5アプリを紹介
2015年10月07日	【FORZA STYLE】	え!? たった5秒で 顔の保湿力をキープするジェルの秘密
2015年10月07日	【CHANTO P46】	ポイント・電子マネーでトクする習慣 PeX
2015年10月13日	【サイボウズ式】	「ベンチャーなんだからモチベーションは高く当たり前だろ？」は間違い ——「働きがいのある会社」1位の社員を盛り上げる方法

**IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申し込みは、  
広報・IR室までお願いいたします。**

 **tel 03-5459-4226**

 **mail ir@voyagegroup.info**

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、  
その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

また2013年9月期3Q以前の数値は、当社内部管理資料に基づく数値となります。